

予算決算審査委員会報告書

令和7年3月11日

備前市議会議長 西上 徳一 殿

委員長 山 本 成

令和7年3月11日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	審査結果	少数意見
議案第2号 令和7年度備前市一般会計予算（総務）	継続審査	—
議案第17号 令和6年度備前市一般会計補正予算（第11号）（総務）	継続審査	—

予算決算審査委員会記録

招 集 日 時	令和7年3月11日（火）		午前9時30分	
開議・閉議	午前9時30分	開会 ～	午後5時07分	閉会
場所・形態	委員会室 会期中（第1回定例会）の開催			
出 席 委 員	委員長	山本 成	副委員長	奥道光人
	委員	中西裕康		土器 豊
		尾川直行		守井秀龍
		立川 茂		石原和人
		森本洋子		青山孝樹
		藪内 靖		松本 仁
		内田敏憲		丸山昭則
		草加忠弘		
欠 席 委 員	なし			
遅 参 委 員	なし			
早 退 委 員	なし			
列 席 者 等	議長	西上徳一		
説 明 員	危機管理課長	竹林幸作		
	市長公室参与	梶藤 勲	市長公室参与	石原史章
	秘書課長	神田順平	広報戦略課長	則枝勇人
	ふるさと納税課長	芳田 猛	観光・シティプロモーション課長	片岡英史
	備前焼振興課長	桑原淳司	交通政策課長	出射詩都
	備前市美術館準備室長	林 順一	東京事務所長 兼名古屋事務所長	大森康晴
	総合支所部長	馬場敬士	三石総合支所長	瀬尾茂樹
	日生総合支所長	横山修一	吉永総合支所長	新庄英明
	傍 聴 者	報道関係	あり	
		一般傍聴	なし	
審 査 記 録	次のとおり			

午前9時30分 開会

○山本委員長 皆さん、おはようございます。

ただいまの御出席は14名です。定足数に達しておりますので、これより予算決算審査委員会を開会します。

本日は、前半が危機管理課、市長公室、総合支所部関係、後半が総務部、企画財政部、会計課、監査委員事務局関係の審査としております。

議案第2号令和7年度備前市一般会計予算、議案第17号令和6年度備前市一般会計補正予算（第11号）の2議案の審査を行いますことから、議事の運営に格別の御協力をいただきますよう、よろしくお願いします。

なお、いずれも補正予算の審査を先に行います。

なお、議案第2号については、所管の記載がされた予算書を事務局に配付させております。審査漏れがないよう、1ページから20ページなどページを区切って審査しております。区切った範囲内に審査中の所管の予算が存在しない場合も多々あるとは存じますが、審査漏れを防ぐためですので、御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

また、席次表を配付させておりますので、現在審査中の部課については座席表も参考にしてください。

なお本日は、東日本大震災から14年の日であり、午後0時より黙祷が行われます。その都合から、午後0時前には必ず休憩に入りたいと思いますので、御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

それでは、議事に入ります。

***** 議案第17号の審査（総務） *****

まず、議案第17号令和6年度備前市一般会計補正予算（第11号）中、危機管理課、市長公室、総合支所部関係の審査を行います。

総合支所部の補正予算は、本日全範囲といたしますのでお気をつけください。

まず、歳入から行います。

所管別分類表の1ページ、2ページ、継続費補正と繰越明許費補正、第4表の地方債補正を一括で審査を行います。

質疑のある方の発言を許可します。

○石原委員 繰越明許費補正、デマンドタクシーデザイン塗装業務委託料830万円、デザインの決定に不測の日数を要したためとの説明、もう少し詳しく状況等をお教えいただければ。

○出射交通政策課長 今年度軽四の電気自動車10台購入しております分に係るものでございます。軽四自動車10台、デマンドタクシーとして利用しますので、契約としては、車両とそれに対する塗装、おなじみのデザインの塗装を一括で契約して発注しておりましたが、こちらのデザインを決定するのに時間がかかって、塗装を全て完了するのが、ちょっと今年度中に終わらない

ということになりましたので、公用車の購入のほうで契約しておりましたものを、一旦塗装しない状況で、補助金を今年度これ充てるようにしておりましたので、そちらのほうの申請の期限がございましたので、先に納車のほうを急ぐことになりました。デザインをしているとそれに間に合わないということになりますので、一旦塗装しないまま、ちょっと期限的に間に合いそうなので1台だけ塗装して、そのほかは塗装しないまま納車して、まず完了させて、補助金申請して、デザイン塗装につきましては、また別途、発注するようなことに決定させていただいております。その関係で、どうしても年度内には終わりませんので、今回、塗装として繰越明許で上げさせてもらっております。

○石原委員 以前も出てきましたが、統一性のあるデザイン、塗装、最初のワーゲンのときにもそういう御説明がございました。今1台は塗装に入っている、デザイン自体は確定、決まっているということでしょうか。

○出射交通政策課長 はい、デザインのほうは決定しております。塗装のほうが想定していたより意外と時間がかかるもの、ちょっと塗って乾かすのに2週間ぐらいかかるとか、そういったところで全台終了するのには時間がかかるというところを、うちのほうもスケジュール感がはつきりしていなかったところは申し訳なく思うんですが、そういった事情でございます。

○石原委員 先方との契約でもってデザイン、塗装業務を行われると思うけど、委託をされて。以前も申したが、無理をされて予算計上されてますけれども、塗装、果たしてどこまであのデザイン、色の統一がどうなんかな。以前も申しましたが、お隣の瀬戸内市さんでは、邑久高校、地元の高校の美術部の生徒のお力も借りて、そういった温かみのあるシートのようなものを車両に貼った、時々お見かけしますけれども、そういう手法もありかなと。万が一検討の余地があるのであれば、再度改めて御検討いただければという思いをお伝えさせていただいて、これは意見で。

○中西委員 車両はいつ買われたか。

○出射交通政策課長 今回の10台は、2回に分けて発注させていただいております。1回目は、契約が8月5日となっております。2回目は、契約が10月29日となっております。

○中西委員 デザイン塗装は、半年とか1年とか、そんなに長いことかかるものですか。

○出射交通政策課長 そうですね、デザインをどうするかというところの協議が、うちのほうがちょっと事務が遅かったというところは、反省点でございます。申し訳ございません。

○中西委員 それは誰がどこで決めるんですか、デザインというのは。

○出射交通政策課長 車両のほうのデザインは、皆さん御存じの水戸岡デザインということで、ドーンデザイン研究所にお願いしております。

○中西委員 塗装はどこの業者に出しているんですか。

○出射交通政策課長 今回当初の予定では、もう塗装も込みで入札しておりますので、本来の予定であれば、今回落札された角野自動車さんをお願いするということになります。

○中西委員 角野自動車さん、私はあまりよく知らないけども、角野自動車さんは、塗装をする

ことができる業者ですか。

○出射交通政策課長 塗装の部分については、恐らく外部に出すようなことになっているんじゃないかと思いますが。

○中西委員 私の意見ということで言えば、もうデザインはする必要はないと思います。だから、こうやって予算を上げなくてもいいと思っています。

○山本委員長 よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、移らせていただきます。

所管別分類表3ページ、歳入、歳入は一括で審査いたします。

20ページの市営バス使用料、24、25ページの観光費補助金、デジタル田園都市国家構想交付金、その下の水防費補助金、非常備消防費補助金、28ページ、29ページの利子及び配当金と一般寄附金、地域振興寄附金、30ページ、31ページのまちづくり応援基金繰入金と企業版ふるさと納税基金繰入金です。

○石原委員 使用料、市営バス使用料の動きについてお聞かせいただければ。当初が400万円見込まれておったのを、130万円減額、それから今日資料で市営バスの利用状況、資料をお出しただいておりますけど、お聞かせいただければ。令和6年度もマイナンバーカードで、運賃が免除されるという中で、この130万円減額をお聞かせいただければ。

○出射交通政策課長 市営バスのほう、実績見込みから当初予算から130万円減額、6年度の実績見込みから計算してこちらのほうを減額させていただいております。昨年度の決算が349万425円の決算でございました。それと同程度で今見込んでおりますが、市営バスのほう、お手元の表にもありますし、本会議のほうでも答弁させていただいておりますが、6年度の利用の見込みとしては、かなり多い、10万人を超えるような利用になるんじゃないかと思込んでおりますが、収入のほうが減ってくるのは恐らくマイナンバーカード提示で無料というのが、2年目に入って大分浸透してきているところから、若干の減になっているのではないかと考えております。

○石原委員 2年目のマイナンバーカード提示で無料というのが令和6年度ですけど、実績見込みによってというのであれば、もっと減額されるのかなと、マイナンバーカード提示で、ちょっと捉えが違ったらお教えいただければ。市営バスに乗られる方、マイナンバーカードを提示されずに、普通に運賃を払っておる方が、もっと無料で乗られて、使用料の実績見込みがもっと下がるのかというイメージがあったけど、この見込みでいえば、当初の400万円に130万円の減額、約270万円ほどは正規の形でお支払いされとんだなと。そこまでマイナンバーカードを提示されてという状況というのを感じた。

○山本委員長 ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、歳出に移ります。

8 ページ、補正予算書 36 ページからです。

歳出も一括で審査を行います。

36 ページは、一般管理費の使用料及び賃借料の宿舍借り上げ料、東京事務所。

○森本委員 これ減額で、実績なのか。当初には載っていなかった気がしたんで、その辺も併せてお尋ねします。

○大森東京事務所長兼名古屋事務所長 こちらの宿舍借り上げ料につきましては、令和5年度の途中から私のほうが行きましたので、令和5年度の6月補正で2人分を計上させていただいておりました。令和6年度の当初には、2人分を見込んで、宿舍の借り上げ料を計上しておりましたが、この時期ですので、1人分ということで実績により126万円の減額をお願いしております。

○山本委員長 36、37 ページ、19 節負担金補助及び交付金、離島定期船運航補助金が入ります。あと15 節の施設整備工事も含まれます。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、52 ページ、53 ページの商工費の報償費、需用費、役務費、委託料、負担金補助及び交付金、その下の土木費の委託料、道路維持管理委託料です。

○立川委員 備前焼製作技術向上支援補助金並びに備前焼製作技術継承者育成支援事業補助金、いずれも減額になってるが、事業内容、募集状況等々、詳細を教えてください。

○桑原備前焼振興課長 本事業につきましては、昨年度から瀬戸内市と合同で事業を実施しておりますデジ田の補助金を活用し、実施をした事業でございます。今年度に入り、先ほど委員から御指摘のあった技術向上支援補助金、技術継承者育成支援補助金というのは、補正予算でお願いし計上したところでございます。

当初予定をして予算計上したよりも見込みが大きく下回ったというところでございます。

実績といたしましては、2月末時点にはなりますが、制作技術向上支援補助金が6件で132万9,000円、技術継承者育成支援事業補助金が9件で163万3,000円の見込みとなっております。

○立川委員 ほとんど使われなかったということで、今後何かそういった啓発で使いたいとか、計画とか、今後の使用状況について、もし検討がありましたら教えてください。

○桑原備前焼振興課長 デジ田の交付金の事業の中には、当初から計画をしておりました。要項等作成を含め、今年度年度途中からはなりましたが、今後、次年度以降も継続して新年度予算にも計上させて、今定例会にも提出をさせていただいております。

継承者、お弟子さんの関係になれば、ある程度限られてくるのかなとは思いますが、技術向上を含め周知ができるように、今後も取組は進めてまいりたいと思います。ただ、対象がどの程度になるかという見込みの部分で、当初の見込みが甘かったのかなというところでございます。

○石原委員 その上の海外巡回展事業補助金4,000万円の減額、実績によるものでしょうけど、瀬戸内市さんとの共同の事業であったと思う。この減額についてお聞かせいただければ。

○桑原備前焼振興課長 今回、減額の補正をお願いしております4,000万円につきましては、瀬戸内市さんとの共同事業とは別に、経済産業省の補助金を頂いて実施をしようというところで計上させていただいていたものでございます。

補助申請はしたものの、採択に至らず、事業実施できていないというところで、今回、全額4,000万円減額という形を取らせていただいております。

○石原委員 随時細やかに海外へ行かれた資料、つい先日の委員会でもお出しをいただいて、世界各国で頑張っておられるというのを感じたが、虫明焼とか、瀬戸内市さんとの共同事業がこれまでの資料でお出しいただいた世界各国であちこちで開催された。ここで4,000万円、補助金の採択に至らず減額になっていますけども、4,000万円の予算で海外巡回展はどういう計画の事業でしたか。

作家の方から、お志のある方から作品を募って御提供いただいたものを、世界各国あちこちへ巡回して、この4,000万円の事業だったのかなと。瀬戸内市さんとの共同事業でも、数十点、備前焼を虫明焼と一緒に持って回られたというのが出てきますんで、そもそもここで減額となった補助金申請をされとった事業と、そっちの区別というか、そこがついていないんで、お聞かせいただければと思います。

○梶藤市長公室参与 海外への巡回の事業につきましては、委員おっしゃられるように、今回、予算を落とした経産省の部分とデジ田の部分、2本立てで進めておりました。当初計画では、この経産省の部分につきましては、展示がメインということで進めておりました。デジ田の部分につきましては、展示もしますけど、その展示は行く行くの地域商社設立に向けてのそういうデータを収集するとかという部分の展示ということをメインで進めておりましたので、ちょっとニュアンスが違う形での進め方を当初は考えておりました。こちらの経産省の予算が落とされたと、採択されなかったということで、もうデジ田を主に進めていったというのが今年度の事業でございます。

○石原委員 その前の委託料2つ、減額についてお聞きします。

○桑原備前焼振興課長 先ほど梶藤参与からもございましたが、事業の振り分け等の中で精査しながら、実績に基づいて減額をさせていただいたものでございます。

○尾川委員 53ページの負担金補助及び交付金、備前焼製作技術向上と、備前焼製作技術継承者育成、説明書では実績ということで処理されとるけど、予算取っとして、必ず全部消化するのは、実務上なかなか難しいところはよく感じるけど、せっかくこういう計画でやっとして、何が課題でこれだけ余っすると、事業とすりゃ行われていないと見たらええと思うけど、担当者としては、何が欠けとって、どういうことでもって課題解決して、今後のことについて、私らはこんな見たら、陶芸センターなんかの若手を活用するんと、製作技術継承者というのがイメージが

違う。ある程度特定した人かどうかというのもよう分からんけど、その辺もう少しどういうところへターゲットを当てているのか教えて。

○桑原備前焼振興課長 先ほど委員からございました陶芸センターについては、研修施設というところで、師弟関係というところではございません。陶芸センターを卒業されて、窯元なり作家さんの下につかれて、再度修行するとか勉強される、そういう方は対象にはなってきます。継承者の部分については、我々が見込んでいたより、そういう方が少ないという状況もあるのかも分かりません。ただ、我々としては、こういう補助金の中で、より多くの方に備前焼を学んでいただいて、備前市で備前焼を作成していただく、定住していただくというところもございまして、今後こういう補助金をPRしながら、外からの作家さんといひましようか、志される方がお越しいただければなと思っております。

それから、技術向上の部分につきましては、我々の周知というか、具体的な部分のPRが足らなかった面もあるのかもしれませんが。ただ、数名の方は高い思いを持っていろんな取組も行ってきていただいておりますので、そういった方が増えるように、次年度以降も取組を進めてまいればなと考えております。

○尾川委員 認識の違いかも分からんけど、技術継承者、陶芸センター継承者、卒業したら継承者になるか知らんけど、それは理屈ですね。陶芸センターだって、本当にもっと助成したって育成すりゃええと思うけど、それを別のルートみたいな形でこういう名称をつくって、支援すると、もっとダイレクトに陶芸センターにすりゃ、同じことじゃねえかと、結果的にはね。今言ようことと、しょうることが違うと思うけど、その辺はニュアンスの違いで、こっちが勝手に取りようと思う。だから、そんな手間かけて、あんたらが担当者でな、新しい事業をやろうとしたら、それだけの時間にかかるし金にかかるし、それぞれ今ある既存のものにもっと優遇するというか、窯でもたけんという状況と思う。よう調べ、あんたらはプロじゃからよう知つとると思うけど、陶芸センターの課題はあると思う。それを解決するために、もっと投入すりゃええと思うけど、その辺はどんなですか。

○桑原備前焼振興課長 申し訳ございません、私の説明不足で。今回の補助事業というのは、新規事業というところに限られてございます。陶芸センターはもともと事業がございまして、市のほうも補助金をずっとお出しをさせていただいたようなところがありますので、尾川委員おっしゃるように、陶芸センターの充実をとれば、また違う補助金の考え方になろうかと思っておりますので、そのあたりは今後検討してまいりたいと思っております。

○尾川委員 私は新しい事業をするって、あんたらは大変じゃと思よん。あれもこれもできるわけねえもん、はっきり言って、金があるからいうたって。だから、既存の組織と既存のそういう施設とか、同じでも別の組織にするとかという形でやっていきや、国なんかの補助は、理屈は通ると思う、そういう工夫があってもええんじゃねえかなと。単に何か新しい名称で新しいものをやろうとしとるけど、補助金が出るというのは分かるけど、あんたら担当者としりゃ、そんなに

時間割けれんと思うけど、もっと新たな人を求めるという方法を考えたらどうですかと、それに対して答弁してもらいたい。

○桑原備前焼振興課長 ありがとうございます。補助金に限らず、継承者の確保というのは難しいところがあるかと思います。委員おっしゃるように、センターはセンターとしての役目がございまして、そのほかにもというところで我々も考えているところで、作業が増えるという部分の御心配はありがたいところではあります、どうにか継承者というか、備前焼を再度盛り上げていきたい、そういう方ができるようにというところの考えでございまして、今後どういう形がいいのかというのは、検討してまいりたいと思います。

○尾川委員 今は作家に弟子はおらんと思う。昔は何人か抱えて、無給でもええから技術を学びたいという人が何人かおった。そういうところへもっと弟子を受けてくれえと、補助金出すから給料へ振ってくれえと。今やったら若い者は弟子になりとうねえという、難しさはあると思うけど、育成していくということも、工夫としてはね。作家とか、大衆窯とかに、陶芸センター出た者にするんか、あるいは新たな者を入れていくかということを考えて、もっと検討してやるべきと思うけど、その辺はどんなですか。

○桑原備前焼振興課長 委員おっしゃるように、昔のような弟子というような形ではないです。労働条件といったようなところの基準もクリアしなくてはならないようなところもございまして。

事あるごとに、そういうお話はしますし、窯元さんでも、職人さんというか、そういう方を募集されているような状況もありますし、そういう方が今回の補助金を利用されているようなケースもありますので、我々としてもそういう方々にお声がけをしながら、よりよい形ができればなと思っておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

○青山委員 57ページの消防費、18節備品購入費、公用車1,061万7,000円、細部説明を見ますと、トイレカー購入に係る経費とあるが、2台この前お披露目があったけど、これはそれプラスということか。

○竹林危機管理課長 今回計上させていただいてますが、本年度既に2台購入させていただいておりますが、国の補正予算の事業を活用しまして、今回、追加でもう一台ということでお願いをしております。これにつきましては、資料もお配りさせていただいておりますが、国の補正予算が2分の1、その補助裏に補正予算債、こちらのほうが100%充当ということで対応していたらと思っております。

○青山委員 ということは、3台になると理解したらよろしいですね。

○竹林危機管理課長 はい、そういうことになります。

○中西委員 トイレカーを3台持つということですが、今回の3台目の購入の目的はなんでしょう。

○竹林危機管理課長 現在2台購入させていただきまして、配置としては、こちらの市役所へ1台、吉永へ現在1台を配置しております。

今後の予定にはなるんですけども、新たに購入した場合には、日生方面に配置できたらということ考えております。

また、車種のほうもちょっと検討させていただいて、現在考えていますのは多目的使用ということで、お子さん連れの方でも利用しやすいような、おむつの交換台、それからベビーチェア等も備えたもので整備できたらというふうに考えております。

○中西委員 この3台の運用の仕方はどのようにお考えになっておられるんでしょう。

○竹林危機管理課長 もちろん、災害時にはそちらの被災のほうへ避難所で対応ということになるかと思います。また、平時につきましては、市のイベントでの活用等も含めて、今後、自治会さん、町内会さん等の行事、イベント等でも、要望があれば貸付けのほうを行っていったらというふうには考えております。

○中西委員 このトイレカーの運行の規則とか、あるいは要綱みたいなのがあるんでしょうか。

○竹林危機管理課長 取扱いを定めたものを簡単には策定はしておりますので、今後またそういったものを、まとめたものを町内会さん等にも提示していったらというふうに考えております。

○中西委員 先般、2台の車、トイレカーを見させていただきまして、その上で伺いをするのが、2台の車は寒冷地仕上げになっておられる。やっぱりトイレカーも寒冷地仕上げにしておくのが私はいいと思うけども、タイヤはどうなっていたでしょうか。

○竹林危機管理課長 現在はノーマル仕様でございます。

○中西委員 私はこの3台目を買うに当たって、ぜひスタッドレスを履いておいたらどうかと思います。多分走行距離はそんなに走らない車と思う。だとすりゃ、最初からスタッドレスを履いてたほうが、地震、あるいは災害が起こったとき、寒冷地でも行けるということになるんで、そういうことはお考えになられませんか。

○竹林危機管理課長 今後、詳細な仕様も作成するようになると思いますので、その中で検討していったらと思います。

○中西委員 先日の展示会のときに気になりましたのは、昇降ステップの手すりが片側にしかない。これは、おむつ交換、ベビーチェア、多目的ということではあるが、昇降ステップを上るときに、例えば体の不自由な方であれば、右、左それぞれ障害がありますんで、片側の手すりだけでは不十分じゃないかと。両側に手すりをつけることができないものか。

○竹林危機管理課長 その辺も仕様、それから今後の協議等で検討していったらと思います。

○中西委員 参考までにお伺いをしておきたい、4台目も考えておられるんですか。

○竹林危機管理課長 現時点ではちょっとはっきりしたことは申し上げられないですが、今後、状況を見ながらということになるかと思います。

○中西委員 私は4台目を検討する場合には、キッチンカーをぜひ検討していただきたいと思います。

○藪内委員 関連で、先日のマラソン大会でトイレカーは非常にいいPRになったと思います。

何か見えていても、非常にいいなと思いました。ただ、ドアとかロックの関係で、皆さん非常に使いにくそうでした。今後買われるときには、その辺、よくチェックして、使いやすいものを考えていただきたいと思います。

○**竹林危機管理課長** 先ほどの意見等も含めて、利用者の意見等も聞きながら、その辺は今後生かしていきたいと思います。

○**中西委員** 商工費の大池緑地公園整備工事、キャンプサイト整備、不測の日数を要したと細部説明にも記載がありますけども、そもそも私は予算の上げ方がやっぱり問題ではないかと思います。十分検討もせずに、予算だけ上げてくるというやり方が、こういう不測の日数とかにかかってきていると思います。

そこで、ここのキャンプサイトの整備は、二転三転、最初は何だったか私も忘れてしまうような企画でしたけども、それが何回も変わって、私も忘れてしまうぐらい変わってきたと。キャンプサイト、それも宿泊ではなくて、デイのキャンプサイトが何でこんなに不測の日数を要するのか、私自身には考えにくい、理由をお聞かせ願いたいと思います。

○**新庄吉永総合支所長** 地元の区長会の方々といろいろお話を詰めていく中で、こういったものもお願いできんだろうかというようなお話がありまして、そちらのほうを検討させていただきますというふうな話で一旦終わっとったものが、また次の協議のときに、これも追加でというお話をいただいたりしながら、予算の範囲内というお答えしかできないというところもあったんですが、そういったところで、何度か協議を詰めていく中で、我々が当初、想定していたもの以外の要望等がございまして、そういったものを、できるかできないか、予算の範囲内でできるかできないかというところを協議していく中で、時間を費やしたというところがございます。御理解をいただけたらというふうに思います。

○**中西委員** つまり今の説明ですと、こちらの企画ではなくて、地元要望に応じていくというところで日数を要したということですか。

○**新庄吉永総合支所長** 当初、我々が予定していたものを、地元の町内会長さん4名ですか、集まっていただきまして説明を申し上げたところ、こういったところ、こういうものも必要ではないのかというところがございまして、そこらあたりを協議させていただいたというところなんです。

○**中西委員** それは予算を上げる前に地元との協議というのはなかったんですか。

○**新庄吉永総合支所長** ある程度はお話はさせていただいておりましたが、本区長さんが区長代理さんも一緒にということで協議をさせていただく中で、なかなか皆さんの日程が合わないというところもございまして、少し遅れたというところがございます。

○**中西委員** 実際にはどういうものが追加されたんでしょうか。

○**新庄吉永総合支所長** まだ設計のほうは100%出来上がってはいないですが、火を扱うというところがございますので、消火栓とかが必要ではなかろうかというふうなお話だったんですが、こちらの想定では、消火器の設置というところを考えておったんですが、消火栓がどうか

ならないかというお話がありまして、県道沿いでもございますので、県のほうともいろいろお話をさせていただきながら、ちょっとこの予算では難しいかなというところなので、そこにつきましては、また今後の協議というところで終わっております。

あと、せっかくできるのでしたら、多少予算に余裕ができましたら、子供たちが遊べるような、ちょっとした遊具とかができないだろうかというところ、大人の方々はバーベキューを楽しめる。ただ、子供はそんなに2時間も3時間も食事に時間を費やすことはないので、そういったちょっと遊べるような遊具ができないかというようなところで、予算との兼ね合いも考慮しながらというところで、遊具屋さんとの協議も進めさせていただいているところでございます。

○山本委員長 ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、補正予算書52ページ、所管別分類表9ページをお開きください。

所管課に日生と書いている予算全てを対象とします。

質疑のある方の発言を許可いたします。

○石原委員 53ページの観光費、委託料のふれあい交流館しおまち指定管理料、この動きについて状況をお聞かせいただければ。

○横山日生総合支所長 しおまちの指定管理料についてですが、令和6年度から直営で業務を行うことになりましたので、今回の減額になったということであります。

○石原委員 当初予算では指定管理料でこの金額が計上されていましたが、実際には直営で運営が始まったのは、令和6年4月からでしょうか。

○横山日生総合支所長 はい、そうでございます。

○石原委員 この施設は令和3年度から5年間、指定管理者として観光協会さんを指定されて、議決もされました。中途で残り2年を残してということでしょうけれども、理由というか、事由というか、指定管理から直営へというところの御判断、そのあたりお聞かせいただければと。

○横山日生総合支所長 観光協会さんのほうから、管理ができにくいということから、ちょっと契約の解除のほうの申出があったということでございます。

○石原委員 理由はどうあれ、そういう形で指定期間の中で指定管理の指定を取り消すと、あちらからの申出、いろんな事情によって取り消すこともあり得るかも分からけど、そういう場合は手続としては、あちらからの申出であろうか何であろうと、そういうときには市長のほうから先方さんへ何らかの通知書なり、そういうやり取りというか、そういうことで令和6年4月から指定管理をやめて、直営でいきますという手続はどういうものだったんですか。

○横山日生総合支所長 特段その手続上のことは、向こうのほうに出してはおりません。

○石原委員 本来は何らかの手続、通知なり、それは規定されとるもんじゃないですか。先方とのお話だけで、ああ今までありがとうございました。これから直営でやりますという、その他の施設に関わることも分からんけど、指定管理そういう途中で最後を迎えて、直営で切り替わる

ときの手続、規定はなかったんですか。

○横山日生総合支所長 そこまではないということは、ちょっとお聞きしております。

○山本委員長 よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

最後に、全体で質疑漏れはありませんか。

○石原委員 63ページの積立金、まちづくり応援基金積立金、増額となっておりますけれども、御寄附が想定よりも多く頂いての積立ての増額ということでよろしいか。

○芳田ふるさと納税課長 まちづくり応援基金積立金1億1,0351万円につきましては、令和4年度から令和5年度に繰り越された事業が今年度決算が済みまして、事業に充当してない6事業に対して、基金のほうへ返還していただいて積み立てるというものでございます。

○山本委員長 よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

以上で議案第17号中、危機管理課、市長公室、総合支所部関係の審査を終わります。

説明員入替えのため、暫時休憩いたします。

午前10時32分 休憩

午前10時50分 再開

○山本委員長 休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

***** 議案第2号の審査（総務） *****

次に、議案第2号令和7年度備前市一般会計予算中、危機管理課、市長公室、総合支所部関係の審査を行います。

所管が記載された予算書を基に進捗してまいりますので、御準備ください。

最初に、歳入を審査いたします。14ページから29ページの範囲でお願いいたします。

○石原委員 25ページの使用料、総務使用料、市営バス使用料、先ほども補正予算でお尋ねしたけれども、ここでは350万円、しばらく時間を経て、先ほど資料出ました。改めて約10万人規模の方が御利用されとるバスですんで、これぐらいになるのかなというところで納得をさせていただいたところです。意見でお伝えさせていただきます。

○森本委員 バス使用料、マイナンバーカード提示ですけど、市外から来られている方の状況等はつかんでおられるのでしょうか。市外の利用者の方。

○出射交通政策課長 対象となっているのは市内の方だけになりますので、市外の方は料金払っていただいております。

○松本委員 いつまでマイナンバーカードにこだわるんですか。

○出射交通政策課長 今回は本会議のほうでも説明させていただいておりますが、今年度いっぱいであったものを、社会情勢とか見まして、1年間据え置くことにさせていただいております。状況につきましては、その都度、見極めながらというところになるかと思います。

○青山委員 25ページの総務管理使用料のデマンド交通使用料1万円、これはどういう使用料ですか。

○出射交通政策課長 デマンドタクシー利用された方、1乗車200円で、マイナンバーカード提示で無料ですので、200円払われる方というのは、件数自体が少なくなっております。これ6年度実績見込みを基に計上させていただいております。

○青山委員 要はマイナカードを使わずに乗られた方ということですか。何人ぐらい。

○出射交通政策課長 お見込みのとおりなので、50人。

○森本委員 25ページの商工使用料、観光施設使用料、これ日生と吉永だと思うけれども、昨年と同じ予算になってますけど、状況としてはどうでしょう。

○横山日生総合支所長 日生のほうにつきましては、頭島グラウンドゴルフ場の使用料となっております。

使用人数についても、ほぼ昨年度と同様の利用者となっておりますことから、同じ額で計上させていただいております。

○新庄吉永総合支所長 吉永総合支所の関係になりますが、八塔寺山荘、八塔寺国際交流ヴィラ、ふるさと館と、3つの観光施設の利用料になります。コロナの時期にかなり利用者数が低迷しとりまして、今年度やっとコロナ前の状況に戻ってきているのが、取ってみえます。

参考までに、国際交流ヴィラですと、令和元年度が年間430人でしたが、6年度見込みは422人というところで、コロナ前に戻りつつあるというところでございます。

今年度の見込みが、おおむね270万円から280万円ぐらいを推計しておりまして、この3つの観光施設の歳入を290万6,000円と見させていただいております。

○森本委員 コロナ禍もあって、これから戻ってきてはいただきたいけど、こういうPR関係とかは、今どのようにされているのかお知らせください。

○新庄吉永総合支所長 国際交流ヴィラでのお話だけになりますが、国際交流ヴィラで特化して言いますと、先ほど6年度の見込みが422人と話をさせていただきました。内訳として、日本人が66人の見込み、外国人が356人の見込み、かなり外国人の利用者が多うございます。これが令和元年度を先ほど430人と申し上げましたが、これの内訳になりますと、日本人が288人、外国人が142人と、コロナ前に比べて日本人と外国人の割合が逆転している状況でございます。外国人の方々のネットワークで、こういったところが増えているのかなというふうには思っておりまして、PRは特にはしてはいないですが、国際交流ヴィラは、利用の申込みを別の団体に委託しておりますので、ひょっとしたらそちらのほうでPRをしていただけたのかなというはあるんですが、申し訳ございません、ちょっとそこまで今確認が取れておりません。

○尾川委員 今の関連で、泊まりの構成、人数、どういう人かというのは説明があったけど、行程というか、どういう目的でどんな感じなんか、その辺は把握されてますか。備前焼とか、閑谷学校の関係で観光客の外国人をどうするかという、インバウンドどうのこうの、日本遺産の絡み

で結構数値的に、どこじゃったか外れたところがあったけど、閑谷学校外れそうになっとなつたというて、人の話じゃ聞いたけど、そのあたりの把握は、されてないですか。

○新庄吉永総合支所長 今ちょっと確認が取れませんが、先ほど申し上げましたヴィラの受付業務は、岡山国際団体協議会で受付業務をお願いしております。それから、ヴィラの管理につきましては、地元の八塔寺ふるさと村運営協議会に委託しております。そういった団体さんにもお伺いしながら、どういった目的でこちらのほうに来られたか、宿泊以外でどういった観光であるとか、体験であるとかというのが、どういったものを目的として来られているかというふうなところも、今後アンケートとかで調べていけたらというふうに思います。

○横山日生総合支所長 頭島グラウンドゴルフ場についてもです。PRについては、市内の観光情報サイトのほうに掲載されておりますが、こちらのほうからも今後発信していきたいなと思っております。

○山本委員長 ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、移らせていただきます。

30ページから45ページまでを審査範囲といたします。

○立川委員 先ほどもお尋ねしたが、32、33ページで商工費の国庫補助金、2節観光費補助金2億5,220万円はさっき出たけど、地方創生のデジ田で4,250万円、それから新しい地方経済ということで、Z世代の交付金が2億970万円、これ御説明いただきたい。

○桑原備前焼振興課長 まず、1点目のデジタル田園都市国家構想交付金につきましては、瀬戸内市様と共同で実施をしております事業に対する補助金、補助率2分の1でございます。

その下の新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）につきましては、伝統産業会館改修に伴う補助金、補助率2分の1となっております。

○立川委員 次の伝産会館の分で、地方経済・生活環境交付金、これZ世代の交付金と理解はしとんですが、どう結びつくんか分からないんで、教えてもらえますか。伝産の改修費とどう結びつくんかな。

○桑原備前焼振興課長 どう結びつくかというところになると、ちょっと勉強不足なところはございますが、こういったメニューの中で、事前協議の後、交付申請をさせていただいておりますので、詳細については、今分かりかねるところでございます。申し訳ございません。

○立川委員 新しい地方経済・生活環境創生交付金、非常に分かりにくかったんで、今言いましたように、メニューの中に調整はされとるけど、こういう事業がこれに該当するという、はっきりしたものが分かれば、後ほどで結構です、教えてください。

○守井委員 今、委員はZ世代と、これ第2世代交付金って書いてあるけど、これは正しいんですか。

○桑原備前焼振興課長 名称は第2世代となっておると思います。

○尾川委員 関連で、交付金がいろいろあるけど、いつまでに使えばええという、年度内か、それも1か月か2か月以内で使えとか、伝産会館のこの補助金、いろいろメニューがあって、その中での選択と思うけど、いろんなメニューどういうふうに検討されとるわけ。たまたま伝産会館を改修したいということからメニューを探す。逆に、新しい地方経済云々があってメニューを探すか、それとも伝産会館改修ということからメニューを探しょんか、どういう動きなのか。

○桑原備前焼振興課長 私からすれば、先ほど委員おっしゃった後半の部分、伝産の改修に伴い補助金はないかというところで、調査研究をした末の結果となっております。

○尾川委員 そしたら、ほかにいろいろ使おう思うたら、使える、あるわけよね、要件というか、いろんなものがありますよと。ただ備前市とすりゃ、伝産会館の改修を選択したということで、それで上限はあるんですか、創生交付金は。

○桑原備前焼振興課長 上限はございます。今この段階で幾らだったかというところ、明確に私も記憶がございません。先ほどの第2世代はここを出てきた交付金ですが、デジ田に関しても、要するにほかの事業に使ってる交付金でもありますので、備前市でも我々が行う瀬戸内市さんとの共同事業のほかにもデジ田の交付金を受けているケースというのがございますので、それぞれのメニューに合わせて、それぞれ担当は該当するものがあれば、手を挙げて交付申請をしているというような状況ではございます。

○尾川委員 これは予算に上がってるから確定と解釈したらええわけ。

○桑原備前焼振興課長 交付申請は行っておりますが、確定にはまだ至っておりませんので、4月に入って結果があるものと思っております。

○尾川委員 可能性とすりゃ、ほとんど100%という理解でええわけ。

○桑原備前焼振興課長 この交付金については、事前に協議を行っておりますので、交付いただけるものと思って申請は出しておりますが、確定ではございませんので、そこは今の段階では何とも申し上げにくいところではございます。

○石原委員 交付金、7年度については伝産会館の改修の半分が出たけど、もちろん継続費でも出てきますけども、令和8年度は7億5,000万円規模の改修工事が見込まれております。今想定では、令和8年度も財源については半分をこの交付金を残して、それから、改めての申請手続を経てということで、全くさらの状態からの手続になるか。

○桑原備前焼振興課長 委員おっしゃる継続費の部分については、この交付申請の中で提出をしております。ですので、確定をすれば、次年度もというところにはなりませんが、デジ田も含めて交付決定を受けて、実績報告を単年単年行てまいりますので、申請そのものは、単年単年ということですが、当初の予定として、2年間でというところで、現在のところの交付申請は行っているところでございます。

○尾川委員 交付金は、事業のどのくらいの率が認められるわけ。例えば100としたら、交付金が30%とか。

○桑原備前焼振興課長 この事業に関しては、補助率2分の1、半分。

○守井委員 37ページの総務費県補助金、地域振興費補助金、歳入のほうで、県補助金350万円のうち、地域公共交通のどの部分に補助金として入っておるのでしょうか。

○出射交通政策課長 地域公共交通維持確保支援事業補助金のことだと思うんですが、こちらのほうを企画課が行っております備前緑陽高校の通学費助成事業に充てるようになっております。事業費の2分の1で上限が250万円の枠でございますので、上限いっぱい予定しております。

○青山委員 41ページの商工費県補助金、観光費の補助金の自然公園等施設整備事業補助金、昨年よりも450万円ほどアップに、このアップの理由を教えてください。

○横山日生総合支所長 まほろばの管理道の舗装工事になるんですが、5か年計画の最終年になりまして、最終年に最後に予定してる距離、延長距離を完了するという事で増額となっております。

○青山委員 具体的にどんなことをされとんか、教えてもらいたい。

○横山日生総合支所長 工事内容については、基本的にはアスファルト舗装です。

○青山委員 家を建てるとか、家の修繕をするとか、そんなことじゃなく、道路のアスファルト舗装と捉えたらよろしいか。

○横山日生総合支所長 はい、そのとおりでございます。

○守井委員 下のおかやまハレいろキャンペーン受入れ対策事業助成金が今年から入っているが、どんな事業に補助が出るのでしょうか。

○片岡観光・シティプロモーション課長 こちらにつきましては、令和4年度、岡山デスティネーションキャンペーン以降ですね、岡山県のほうが令和5年度以降、毎年実施しておりますおかやまハレいろキャンペーン事業、後継キャンペーンですけれども、こういったことを夏会期に毎年実施しております。令和7年度も7月から10月にそのキャンペーン事業ということで、各県内の市町で実施される事業等に対する助成金の申請をさせていただいて、現在、一応内定で頂いてる額を計上させていただいています。

○尾川委員 関連で、123万円ぐらいは県から助成金が出るけど、大体今50%で倍ぐらいの事業を考えておると、そのぐらいの事業をやった形にするか、どの程度やろうととんですか。

○片岡観光・シティプロモーション課長 こちらにつきましては、今後また歳出であるかと思いますが、観光船が完成したうちの8月に就航記念事業ということで、帆船をお呼びしてする事業のうちで、その期間にランタンフェスタというちょっとイベントを考えております。そういった事業であったり、また備前市美術館が7月12日に開館いたしますので、それに関連したイベントを夏会期に実施するところで、助成金の申請をさせていただいたものになります。

○山本委員長 よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、46ページから59ページを審査範囲といたします。

質疑のある方の発言を許可いたします。

○守井委員 ふるさと納税5億円、今年4億数千万円で大変だと思いますけど、ヒット商品か何かを作らんなかなか難しいと思うけど、どんなかね。

○芳田ふるさと納税課長 委員おっしゃられるとおり、主力になるやっぱり商品というところで、備前市につきましては海産であったり、フルーツであったりするんですけど、やはり総量が決まっていますので、寄附が集まれば集まるほど、途中でもう受付中止というような状況になっております。

そうした中で、今回平均でいきますと、4億円ぐらいの寄附金を頂けるかなということで、令和6年度は見込んでおりますが、来年は12月から参入いたしましたアマゾンさんのほうのサイトへも返礼品の出品をしておりますので、そこが寄附金のほう少し増額で集められるんじゃないかなというふうに見込んで、5億円を計上させていただいております。

○守井委員 少しずつでも増えることが大切だと思いますけど、やっぱり職員なり関係の人でよく協議していただいて、何か新しい返礼品を作らない限りちょっと無理かなと思うんで、地場産業を生かしながら、新しい返礼品ぜひ考えていただきたい。

○芳田ふるさと納税課長 担当といたしましても、来年度に向けて、先ほどの新しい商品というところでいくと、泉佐野市がふるさと納税3.0という概念の中で、クラウドファンディングを使って返礼品の開発事業者へ補助出したりして、新しい返礼品を作っているような事業をしております。そうしたところを参考にしながら、うちのほうでも新しい返礼品をというところで、加工場の誘致であったり、今の既存の事業所の拡充であったり、設備投資であったりというところで、新しい返礼品ができればなというふうには考えております。

○中西委員 46ページの一般寄附金、企業版ふるさと納税寄附金、昨年度の当初4,950万円に比べると大幅な減額です。このような金額にした理由についてお聞かせ願いたい。

○芳田ふるさと納税課長 このたび充当事業の資料も提出させていただいてると思いますけども、企業版ふるさと納税については、備前焼海外巡回展事業、備前焼振興事業の窯改築、製作技術向上支援、製作技術継承者育成支援事業補助金、これと合わせまして非常備消防団の活動支援事業ということで2,000万円を企業版で賄いたいということで計上させていただいておりますので、去年は巡回展で4,900万円からの事業を計上させていただいてると思いますけども、今回はこの5つの事業に対して企業版を募っていくという考えでございます。

○中西委員 集めるに当たっての一工夫はありますか。

○芳田ふるさと納税課長 寄附を集める一工夫といいますか、事業の詳細を載せたパンフレットといいますか、チラシを作って、当然企業へ、いろんな企業へ訪問して、事業を皆さんに御支援いただけるよう説明をするしかないのかなとは思っております。

○尾川委員 ふるさと納税と一般寄附は、今頃企業によろしくお願ひしようと思う。担当が違うか

もしれない。そのあたりどの程度頼んだらええというのは、何か考えとん。個人的じゃなしに、備前市としてはこのぐらいじゃろうとか、いろいろネーミングじゃいうて頼んでみたりしとるけど、何でもかんでも行事に寄附集めしたり、協賛という形で寄附を受けていきょんじゃけど、今のところ付き合してくれとんじゃろうと思うけど、その辺の考え方は、担当者とすりゃどうお考えなのか。

○芳田ふるさと納税課長 基本的に市内に本社と事業所があるところについては、協賛金であったり、一般寄附でお願いするしか、この対象になりませんので、企業版ふるさと納税でお願いしてるのが市外に本社を持っている企業に対してお願いするのが企業版ふるさと納税かなというところで、9割の損金算入と合わせて税額控除がございますので、1割負担にはなりますが、御賛同いただきながら、例えば岡山市で本来なら法人税を納めていただくところ、備前市の支援としてこちらのほうへ納めていただくというような形で、企業回りはさせていただいております。

○中西委員 企業版ふるさと納税寄附金、昨年度のふるさと納税企業版の企業名が明らかになっている資料を見させていただいたけども、入札に参加した企業には、何か特別に依頼をしておられるか。

○芳田ふるさと納税課長 入札に参加している企業に特別にというのは、特にはございませんが、当然うちのほうの各担当部署等から備前市とつながりのある企業を御紹介いただいた上で、その企業が同じ年度に入札へ参加している可能性もございますし、それ以外の事業者も訪問はさせていただきます。

○中西委員 私が気になりましたのは、入札に参加して、落札した企業がその落札後、企業版のふるさと納税をしておられるというのを見ると、多少違和感を持って、これはそういう働きかけをしとられるのかなと思ったけど、それはないですか。

○芳田ふるさと納税課長 入札を理由の働きかけは一切しておりません。

○松本委員 私、一般質問で市長に、企業版ふるさと納税について、市長あなたがトップセールスせんといけんですよという関連質問した。なぜ言うかということ、やっぱり成功してるところは、トップセールスを割とやってるよ。それから、いわゆる訪問会社のリスト、例えば備前市に関係したところで、そういう名簿は把握してるんですか。それと、東京と名古屋事務所の方々は、それに基づいて動いたことあるんですか。

実際誰がどれぐらい、何人ぐらいでこの企業回り、やってるんですか。

○芳田ふるさと納税課長 当然、市長のトップセールスは随時やっていただいております。東京等へ行ったときに、こちらに工場のある本社企業であったり、大阪へ本社があるところに企業訪問、年始の挨拶、あわせまして企業版ふるさと納税のトップセールスはしていただいております。それとあわせまして、東京事務所、名古屋事務所も企業へ回って、例えば本社じゃないですけど、こちらに工場がある関連の支店がある企業等を訪問していただいて、企業版のふるさと納税のお願いはしていただいております。あわせまして、うちの担当といたしましては、まず基本

的には県内、市外の県内中心に訪問させていただきながら、こういった企業版の制度の説明というところで、御要望があれば東京へ出張に行ったり大阪へ出張させていただいて、担当２人で回らせていただいているケースはございます。

○**松本委員** 私が聞いたのは、そういうリストがあるかどうか、リストに応じてどれぐらい回ってるかということが聞きたい。

○**芳田ふるさと納税課長** 基本的にリストはございません、毎年していただけるわけではないので。例えばですけども、担当といたしまして、県内を回る場合は、例えば新聞でいろんな事業の協賛してる、広告を出してる企業等々、そういった企業に直接電話させていただいて御説明させていただくと、訪問させていただくと、東京事務所等につきましては、先ほど申し上げたとおり、ゆかりの会の会員の企業であったりとか、こちらに工場がある企業であったり、例えば備前市出身の社長の会社であったりということで、随時訪問させていただいております。

○**松本委員** 私が聞いたのは、そういう対象リストをどれぐらい持ってるかと、それで本当に行っているかどうか、どれぐらい回れるか、そういうことが知りたい。

○**芳田ふるさと納税課長** 訪問でいきますと、令和６年度、まだ決算済んでいませんけども、約８０社ぐらいは回らせていただいております。実績につきましては、今現在では約５０件ぐらいの寄附をいただいている状況です。

○**中西委員** ５６ページの総務費雑入の市営バス運行負担金１１６万円、昨年度が１１０万２，０００円、どこどこに出してるか分かりますか。そして、金額が上がった理由についてお聞かせ願いたい。

○**出射交通政策課長** こちら市営バスの片上和気線の運行負担金の和気町の負担分になります。金額が増額になった分につきましては、運転手の人件費が上がったところによるものです。

○**中西委員** ５４ページの入場料及び参加料、イベント参加料が昨年４万５，０００円、今回１１万円、こういったところにイベントに参加されるのでしょうか。

○**片岡観光・シティプロモーション課長** このイベント参加料に関しましては、先ほどちょっとお話をさせていただきましたおかやまハレいろキャンペーンの事業です。御説明をさせていただいたときに、新しい観光船の竣工記念ということで、その帆船をお呼びするイベントと、またランタンフェスタという夜でのイベント等も考えておりまして、そこへの参加料ということで、現在約１１万円ほど上げさせていただいております。

○**中西委員** ５４ページの広告料収入、広告掲載料、昨年は８３万５，０００円、今回が昨年と比べると、少し金額はささやかになっていますんで、その理由をお聞かせ願いたい。

○**則枝広報戦略課長** 令和６年度予算につきましては、令和５年度よりも２色での広告を３ページ追加で考えて予算計上させていただいております。しかし、実績としまして、広報の裏表紙と、その中の２ページのみの実績となりましたので、令和７年度につきましては、その実績から見て現在、予算計上させてもらっております。

○中西委員 この広報ですけども、私は毎月同じページだと思ってたけど、月によってはページ数の少ないときがあった気がするけども、そのようなものですか。

○則枝広報戦略課長 基本4ページをワンセットとしまして、16、20ページを考えて広報を作成しております。記事の少ないときには、ページの少ないものになっているというのが今の現状になります。

○中西委員 毎月同じコンスタントの枚数ではないと、月によっては、短いやつもあるし、長いやつもあるということか。

○則枝広報戦略課長 委員おっしゃられるとおり、各課から原稿を頂いて、それをまとめて広報としております。ですので、少ないというときもございます。

○松本委員 晴れの国何とか企画のことであつたけど、大多府にランタンを上空に上げるんですか。LEDランタンといたら夜の企画でしょう。私は大多府に観光客は夜どうやって行くのかなと思う。大多府の住民には、それは見えるといやあ見えるけど、何のためにするんかよく分かんですけど。

○片岡観光・シティプロモーション課長 こちらにつきましては、ちょっと限定イベントということで、人数については限りをさせていただくような格好になると思いますけれども、参加人数についても、ランタンフェスティバルに関しては約100名から150名程度を今現状考えております。もう一つ、新規事業シートにもありますけれども、観光船を記念した帆船の乗船体験イベントも日中させていただいておりますので、それぞれのイベントへの参加募集を考えております、現状。

○松本委員 よう考えてください。夜ランタンを上げるのに、観光客はどうやって行くのかなと。そういうことも含めて、具体的によく考えてください。

○山本委員長 よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

歳出に移らせていただきます。

審査の範囲は62ページから81ページまでといたします。

質疑のある方の発言を許可いたします。

○守井委員 65ページの負担金補助及び交付金、総務管理費、東京、全国市長会負担金、東京事務所の所長会の負担金と東京と大阪の県人会の負担金、両方とも削除されておるが、会費が要らなくなったんですか。

○大森東京事務所長兼名古屋事務所長 東京事務所においては来年度、今年度をもって閉鎖というか、来年度、東京事務所を置かないということになりそうなので、予算計上は削除されております。

○中西委員 そうしますと、今、東京事務所長兼名古屋事務所長になるんですけども、肩書がね、来年度、名古屋事務所もなくなるということですか。

○大森東京事務所長兼名古屋事務所長 機構に関することだと思いますが、予算のほうは削除されております。

○中西委員 64ページの報償費の自治連絡費46万円、少し減額されているけども、理由についてお聞かせ願えますか。

○則枝広報戦略課長 令和6年度より広報紙をデジタルで見ているので、紙では不要というような調査をさせていただいております。デジタルで見るという件数がございますので、広報配布というところの手数料はちょっと減っております。昨年度見込みで1万2,000戸ぐらいを見込んでおりましたが、今年度は1万1,000戸と、1,000戸、1か月当たり減った数で積算させていただいております。

○中西委員 回覧板で今デジタルか紙ベースかという調査が来てるけども、デジタルの人が多くなっていけば、その数が減っていくということか。

○則枝広報戦略課長 こちらの自治連絡費の報償ですけれども、まず町内会など各地域において、広報の配布に御協力いただいた、その手数料として1部当たり20円を計上しておりますので、配布数が減れば、その金額も減っていくということになります。

○中西委員 64ページ、役務費、通信運搬費3万8,000円、これはささやかですけども、予算書を見ますと、この通信運搬費はどこも値上がりをしてると、郵便料金が値上がったことによるものと思うけども、この通信運搬費はこれで大丈夫でしょうか。

○則枝広報戦略課長 こちら料金改定を見込んだ実績から、6年度の実績見込みから出しておりますので、これで予算要求させていただいております。

○山本委員長 ほかに質疑はありませんか。
暫時休憩いたします。

午前11時46分 休憩

午後 1時00分 再開

○山本委員長 休憩以前に引き続き委員会を再開いたします。

○立川委員 76、77ページで地域振興費、11目、この中で13節、バスの運転委託料3,600万円、それからデマンド交通の運転委託料が4,000万円について御説明いただけますか。

○出射交通政策課長 地域振興費の委託料につきまして、まずバス運転委託料ですが、市営バスの八塔寺線、南北のぞみ線、三国和意谷線、頭島線と福石線、運行を業者に委託に出しておりますので、その分の計上になります。

それから、デマンドタクシーの運行委託につきましては4,000万円、これは今年度、6年度の1台につき200万円、今現在ちょっとこの予算計上時は20台で見込んで計上させていただいております。

○立川委員 バスの運転委託は路線が限られておると、それぞれ路線って幾らずつになるんで

すか。

○出射交通政策課長 こちらのほう、2つの事業者に御委託しております。ちょっと今、手元に細かいのがないですが、八塔寺線、南北のぞみ線と三国和意谷線の分で一括して2,300万円、それから頭島線と福石線を1,300万円で見込んでおります。

○立川委員 これは業者委託ですか、個人委託ですか、業者。

○出射交通政策課長 市内のタクシー事業者に運行委託しております。

○立川委員 デマンドですけど、200万円の20台というお話が今あったけど、個人運転手との委託契約になるんですか。

○出射交通政策課長 今現在個人で契約しておりますので、引き続きでそれを想定して計上しております。

○立川委員 後ほどでも結構、この交通委託料の契約書。名前を書いていない、これにサインしてくださいという委託書の様式をお見せいただけたら。お願いしときます。

これ値段が変わっている、6年度と7年度では。

○出射交通政策課長 1人につき200万円は変わってないです。6年度は、年度当初に上げてたのが、その前からある10台、最初から稼働してた10台と、後半の途中、車両、軽自動車を購入する予定でしたので、それが6か月、半年分で見込んでまして、半年分の100万円というのを見込んでおりましたので、3,000万円という形なので1人当たりの単価というか、年間の額は、今現在は200万円が変わらずにしております。

○立川委員 軽四の100万円が半年分、これ未使用で済んだということですよ。

次、78、79ページ、備品購入費で公用車5,120万円。施設整備備品81万円も一緒と思うけど、一応ミニバン買いますよと、10台という説明はあるが、5,120万円、これ全部ミニバンの代金と考えてよろしいか。

○出射交通政策課長 公用車5,120万円はデマンドタクシー車両の分です。

○立川委員 全額5,120万円でしたら、ミニバンが10台、単純計算しますと500万円ちょっとと、これはどういった乗用車になるか。

○出射交通政策課長 今現在想定しておりますのは、ハイブリッド車の7人乗りでございます。

○立川委員 ハイブリッドの7人乗り10台、500万円という認識でよろしいですか。百歩譲ってハイブリッドにしたんでしょうけど、最初の導入のとき覚えていらっしゃいます。ゼロカーボン、EVじゃなくてはいかんと、軽四を待ってID.4買っちゃった。なぜEVにされないんですか、その理由は。

○出射交通政策課長 今回大きめの車を導入するに当たりまして、EV車のほうも探したんですけど、該当する車両がございませんでした。そういった市場も刻々と変わってきますので、実際発注をかけるときに、もう一度精査することもあり得ますので、現在は今考えられる車両で予算計上させていただいております。

○立川委員 それで、前へ戻ったみたいですけど、ガソリンが1, 500万円あったりするわけですけど。この5, 120万円、ハイブリッドですね、今おっしゃったのは。ミニバンタイプ10台買うのに、関連した費用、これ前もひっくるめてですね、さっき言いました施設整備備品81万円を含んで、例えば重量税とかデザイン料とか。需用費とか役務費とか、いろんなところへ入っていると思うけど、本当にこのミニバン10台取得するについて、関連費用をどこどこ上げていращやるか教えて。

○石原市長公室参与 的確にお答えさせていただくために、少し整理のお時間をいただけたらと思います。後ほど回答させていただきます。

○立川委員 予算上げとるからすつと分かると思って聞きましたけど、後ほどということは、今日中にお知らせいただくということ、まだ日にちかかるということ。

○石原市長公室参与 そんなにかかるものではございません。

○立川委員 デマンド交通の運転委託、個人ということで20人、予定は。4月1日ということになると、もう3週間、見込みはどうですか。車はあるけど動かないという実態を懸念するけど、今現在でどんなお見込みを持っていращやるんですか。

○出射交通政策課長 何か御心配おかけしておりますデマンドタクシー10台、今年度導入しましたが、運転員を募集しているところですが、今現在見つかっていない状況でございます。ですので、現行の10人だけとなります。4月始まりますので、鋭意努力してまいります。

○立川委員 10人は今現行の方、この方も辞められる方もいращやるようなお話も聞く、まだまだ足りないという実情ですね。もう3週間ですけど、頑張ってください。もうそれしか言いようがない。

○守井委員 79ページの負担金補助及び交付金、19節離島定期船運航補助金、去年が932万円が1, 180万円と、200万円ほど増えた理由は。利用者が増えたか減ったか、何かそれか器具を買ったか。

○出射交通政策課長 6年度予算よりは若干増えたように計上させていただいております。こちらはマイナンバー事業、実績見込みに基づくものですので、増えているということであれば、マイナンバー利用で無料というところが浸透しているからではないかなというふうに想定しております。

○松本委員 今マイナンバーと言ったけど、離島の住民定期船利用補助金との関連じゃないんかなと、分かりませんよ。さっき守井委員ので250万円ぐらい今年増えていますね、さっきの話ですけど。乗船客が分かれますか、利用の乗船客数というか。どうしてかという、やっぱり乗船する人が減ってるかどうかということです。それも含めて教えてください。

○出射交通政策課長 すいません、今数字のほうが手元になくて、すぐにお答えできません。

○松本委員 後でいいです。資料を出してください。

○中西委員 先に74ページの負担金補助及び交付金で、自転車用ヘルメット購入費補助金、単

価と人数を教えてください。

○竹林危機管理課長 こちらにつきましては、補助限度額5,000円、これに対して件数を270件見込んで135万円計上させていただいております。

○中西委員 270人というのは何か根拠があるんですか。

○竹林危機管理課長 積算の内訳としまして、通学用のヘルメットを150件程度、一般用として120件程度ということで見込ませていただいております。

○中西委員 その下の防犯灯設置補助金300万円、去年の当初が360万円、こういうのはすごい地域の中では要望の強いところで、なかなか設置してもらえないというところがあるけども、去年より少し低くなってる理由についてお聞かせいただけませんか。

○竹林危機管理課長 こちらのほう、最近の実績を見ますと、令和5年、令和6年とも200万円程度の実績の推移になっております。その辺も踏まえて、若干余裕は見させていただき状態ですけど、300万円計上させていただいております。

○中西委員 78ページの負担金補助及び交付金、生活交通利用補助金、昨年度は80万円、今年度は40万円に、減額の理由について。

○出射交通政策課長 いわゆるタクシーチケットになりますが、令和5年か、デマンド運行の開始に伴いまして、対象要件を見直して、高齢者の方へも交付してたものを、障害者の方等に限定させていただいております。その影響で外出機会の少ない人に交付が限られて使用率が減少しているところございまして、実績見込みに応じて7年度は予算計上させていただいております。

○中西委員 その下の地域内交通運行事業補助金、昨年度11万6,000円で、今回33万1,000円になって増えてるけども、理由は何でしょうか。

○出射交通政策課長 地域内交通運行事業補助金のほうでしたかね。すいません、ちょっと先ほど別のほうをお答えしました。

ささめあいのほうは、対象となるのが、今年度増えているのは、車検代ですか、そういった車の維持管理の部分になりますので、車検がある時期は金額が増えてまいります。あと、北部ですので、今回スタッドレスタイヤをつけるようなことで、希望が出ているようで、そちらの分の予算を見込んでおります。

○中西委員 公用車を10台ハイブリッドを買われるけども、いつ納期になるんでしょう。

○出射交通政策課長 なるべく早くとは思ってるんですが、ちょっと昨今の状況で、車両はなかなか入りにくいようなところもあるようです。早くて半年ぐらいいかなという感覚で見込んではいませんが、ちょっと状況によって何とも言えないところです。

○中西委員 デザイン委託料を出されてまだ半年かかると、1年先ぐらいい見込んでけばよろしいでしょうか。

○出射交通政策課長 なるべく早くというふうに、年度内には納入される。

○中西委員 公用車を買う予算が上がると。しかし、いつから運行を始めるのか分からないよう

な運行計画でいいものかどうか私は疑問に思ってる。それによって運転員の、運転手の賃金も出てくるでしょうし、そういったもろもろの経費がどうなっていくか気になるところですけど、予算を上げる以上は、いつから運行するかということぐらいは、はっきりさせておかねばいけないと思う。それはどうお考えになっておられますか。

○出射交通政策課長 見込みとしては、10月ぐらいを見込んで予算は立てております。

○山本委員長 よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

では、次に進めさせていただきます。

審査の範囲は82ページから135ページまでとします。

質疑のある方の発言を許可します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

98、99ページの負担金補助及び交付金の諸島地区高齢者等介護支援渡航費助成金、寺山地区高齢者等通院交通費助成金、ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

暫時休憩します。

午後 1時27分 休憩

午後 1時32分 再開

○山本委員長 休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

○出射交通政策課長 先ほどお尋ねいただきました、まずデマンド車両の導入の件ですが、それに係る経費です。地域振興費ですので、77ページからになります。こちらのほうの役務費の自動車損害保険料のうち、この新規の車両に係る分につきましては、自賠責のほうが24万1,900円、それから任意保険のほうですね、共済基金分担金のほうが37万円で計上しております。

それからもう一つ、車両に係るものとしては、委託料のほうでデザイン委託料100万円、こちらが車両のデザインに係る委託料になります。これと車両の先ほどの5,120万円と合わせ、この3つが関連する経費になります。

デマンドについては以上です。

それから、先ほど定期船の利用のことでお尋ねいただきました。大生汽船の決算の資料になりますので、時期が令和5年10月から令和6年9月での実績になりますが、年間の利用客数が2万7,954人、そのうち島民が1万1,886人となっております。

○松本委員 欲しかったのは、乗船客が減ってるか増えてるかですが、何でかという、今度観光船を造るわけでしょう、運航するわけでしょう。その辺の盛衰と言うたらおかしいですけど、言わば浮沈ですね、これがやっぱりこういう数字を見ながら判断するというか、そういう点で年次推移が知れたかった。

○出射交通政策課長 その前の期間だけになりますが、利用客数が2万5,948人となっておりますので、若干増えてはいます、この期間でいうと。

○立川委員 さっき公用車の内訳をお聞きしたが、需用費の中の燃料費は該当してないという解釈でよろしいか。

○出射交通政策課長 今回、燃料費は見込んでおりません。

○立川委員 課長がハイブリッドとおっしゃったんで、ガソリン入るんじゃないですか。計算外ということでよろしいか。

○出射交通政策課長 今現在、電気自動車でも電気代は委託料の中に込みになります。確かにガソリン代ですと、かかる経費が違って来るんですが、今現在は見込んでおりません。

○立川委員 委託であれば、燃料委託という契約書を見せてもらったら、様式を、はっきりするけど、後で聞きます。

その公用車の下の施設整備備品、御回答がなかったが、81万円は車に係る費用ではないということか。通信の何とかとかではないと。

○出射交通政策課長 今回のデマンド車両に係る、購入に係るものではございません。

○立川委員 これもお尋ねしとったけど、結局何ですか。

○出射交通政策課長 バス停の新規とか更新に伴うものですとか、そういったバスに係る必要な経費で見込まれるものを上げております。

○山本委員長 あと135ページまで質疑はありませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

暫時休憩いたします。

午後 1時39分 休憩

午後 1時40分 再開

○山本委員長 休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

審査の範囲は136ページの商工費から141ページの7款商工費、1項商工費までです。

質疑がある方の発言を許可します。

○出射交通政策課長 ただいまお手元に資料を配らせていただいておりますのが、今回観光船の観光施設整備事業で予算計上しております浮き桟橋の設置につきまして、審査の際の御参考になりますように設置予定場所の航空写真と、桟橋の形状のイメージを提供させていただきました。こちら現時点での予定のもので、確認はこの場限りということで、よろしくお願いいたします。

資料ですが、上段のほうが桟橋設置予定の4か所になります。赤囲みしている部分が設置を検討している場所になります。①が片上、②が鶴海、④の伊里漁協が岡山県の管理、③の久々井港が市の管理になります。今回予算計上するに当たりましては、①、②、④の県の管理者のほうには内々には打診しておりますが、今後予算化されて具体化していく段階で本格的な協議に入るこ

ととしておりますので、今後県との協議によっては変更となる可能性もございますので、お含みおきください。こちらのほう、あくまでも今現在、候補地としているということで御理解いただけたらと思います。

下段の参考写真は、設置する浮き栈橋のイメージになります。左側に載ってるのが、岸壁から沖合に向かって張り出すタイプで、右側が岸壁に横づけで設置するタイプになっております。

製品としては、樹脂ウッドタイプで、幅が4メートル、長さ28メートル程度の本体と、そこに渡るためのスロープ、それから手すりのついたものということで想定をしております。

ちょっと左側の写真のほうは、若干幅の狭いものになります。こちらのほうはあくまでもイメージとして見ていただくためにお配りしているので、御了承ください。

お配りしている資料については、以上になります。

○青山委員 資料非常に分かりやすいが、分かりやすいだけに不安がいろいろある。例えばここを使われるところといたしますか、地権者になるのでしょうか、そういったところとの協議、意見等十分踏まえてということによろしいでしょうか。

○出射交通政策課長 先ほども申し上げましたが、この4つのうち3つが県の管理になります。県には、内々にお話はさせていただいておりますが、本格的なことというのは、今後、予算化されてから具体的にお話しするというようなことでお話をできておりますので。

○青山委員 県が管理されているでしょうけど、ここを使われている方ですね、例えば伊里漁協だったら、これ真魚市をやっているところで、船が出入りしてると思うけど、そういった実際に今使われてる関係者との意見聴取はされたか。

○出射交通政策課長 伊里漁協さんには、昨年度の段階でお話しさせていただいてるところでございます。

○青山委員 あと3か所についても、それぞれ協議は十分できて、よろしいというお話になるのでしょうか。

○出射交通政策課長 今お話しできてるのは、伊里漁協さんのところだけです。

○青山委員 かつて、予算が通ってから関係者とお話しするというので、もめた件もあったが、大丈夫でしょうか。

○出射交通政策課長 そのようなことがないように、説明は尽くしていきたいと思います。

○青山委員 そのようなことがないようにといっても、もうこの議会で我々決定せにやいけんわけですけど、決まったからこうだという感じで持っていかれると、非常に困られる方が出られたり、もっとこういうふうにしてほしいという意見もあるかと思うけど。

○石原市長公室参与 委員の御懸念はごもっともかと思います。あらかじめ、久々井は市管理になっておりまして、内々にこういうお話は担当課ともさせていただいております。それから、片上、鶴海、伊里漁協についても、県の管理施設ということがまず1番にありますので、伊里漁協さんとも従前からお話のほうはさせていただいております。

県の管理ということになりますと、県の許認可をいただくという流れになってまいりますので、まず1番は県の担当課としっかりとした協議をさせていただいて、場合によっては、我々が望んでいる場所がこの辺りだとしても、県のほうとしては、こちらの範囲で使えないかと、そういった協議の中での可能性というものは出てくる場合もあると思っております。そういったことも、私ども内々にはお話は通させていただいておりますが、本格的な協議というものは、この予算を議会でお認めいただいてから行いましょうというお話をいただいているところでございます。

今後も利用者の方、県のお考えも当然計画等もある場合もあるかと思しますので、県の御意向をしっかりとお話をお伺いする中で、私どもの利活用がスムーズに認めていただけるようにお話を詰めていきたいというふうに思っております。

実際にこちら、それぞれ港を利用されている方々へのアプローチ、それからそれぞれの地元の方へのお話、そういったものも順次並行して行っていくものになろうかというふうに思っております。

○青山委員 県の許認可はいつ下りるか。

○石原市長公室参与 この議会でお認めをいただきました後に、速やかに県とも協議を重ねていきたいと思っております。

想定しております期間としては、1か月、2か月ぐらいでその協議をとというスケジュール感で考えているところでございます。

○青山委員 ちょっとよく分からないけど、感覚としたら、やはり県と十分協議をして、いや、そういうなんだったらいいですよ。あと議会のほうで理解を得て通してくださいという話になるかなと思いますし、それから利用される人が実際におられて、やっぱりそういう方の利便性といえますか、今後のことも考えてあげなければいけないと思うけど、何か最近、予算が通って、それから地元や関係者に話をするということで、要望もしていないのに、何でこんなところへとかという話をちょくちょく聞くけど、その辺は大丈夫か。

○石原市長公室参与 県の担当課とも、担当レベルで内々にはもうお話もさせてはいただいております。協議の中では、県のほうからもうどういった制限というようなお話も出てくるやもしれませんし、我々が想定していた範囲内で協議が調うのであれば、一番好ましいかなと思いますが、いずれにしてもこの管理を行っていますのが岡山県になりますし、県のお認めをいただかなくては、使用しようにもかなわないということになりますので、しっかりとそこはもう突然のお話ではなく、内々にお話をさせていただいてる部分でもございますので、懸念がないような形で進んでいくものというふうに思っております。

○青山委員 これまたその話によったら、予算が膨らんだりする感じがする。

もう一点だけ、この航空写真で見ますとなだらか、海の状態、岩礁があるとか、そういうのは分からないけど、北前船の19トンの船で、しかも職員が免許を取ってという話も以前出ました

けど、大丈夫ですか、ここを安全に運航できるか、その辺についてはどうか。

○石原市長公室参与 委員おっしゃっていただいたように、まず1番は、安全な運航を確保しなければならないということが、まずもって一番大切なことではないかと思っております。

今回、予算を計上させていただく上でも、まずそれぞれ皆様も写真を見て、イメージは当然おつきになられるだろうというふうに思います。当然潮の干満も含めて、接岸ということも出てまいりますので、実際に今回の予算を計上する上で、栈橋の専門業者にも見積りをいただいているところですが、そういった潮の干満も含めて、接岸のほうは大丈夫だというふうなお話もいただいているところでございます。

それから、運航自体については、職員がというお話もいただいているところで、先ほど御指摘もあったところではございますが、一般質問の市長答弁の中にもお答えをさせていただいておりますとおり、こういった運航を受けていただく業者がいらっしゃれば、そういった業者をお願いをしていくということも十分可能性として視野に入れているところでございますので、そういった部分の運航の形というものは、まだはっきりと直営か委託かというところは決まっているということではございません。

○青山委員 懸念するのが、本当に素人で経験のない者がここを安全に出入りができるのか。そういう担保、あるいは準備や計画があつて、ここへ議案として上げられるんじゃないかと思うけど、これからという話だと、ちょっと不安ですが、ぜひ利用者の問題、あるいは安全な運航の問題、しっかりとやっていただきたいと思います。

○尾川委員 この写真の下側の参考写真と書いてある栈橋が2種類あるけど、その場所によってこういう突堤みたいに出とると、岸に並行してつけると、そういう理解したらええですか。

○出射交通政策課長 そのように理解していただいて結構です。

○尾川委員 大体1億8,200万円と思うけど、観光施設整備工事で、もうちょっと詳しくこの細部説明を書いときゃ、一々聞かなくても見たら分かるけど、1億8,200万円が4か所だけか。4か所で割りゃええんかな、ざっくり4,000万円、そういう理解でええんかな。

○出射交通政策課長 この1億8,200万円につきましては、この栈橋だけでなく、トイレ、休憩所、あとは日生のほうの待合所も全て含んだものになります。

○尾川委員 もう一つは、日生の説明もしてもらおうたらと思う。

○出射交通政策課長 今は日生のほうは、日生駅前を想定しております。そちらのほうには、栈橋、今ございますので、そちらを活用できればというふうに考えておりますので、今回予算計上されております。

○尾川委員 今予算としてはこの4か所を考えとるということですか。

○出射交通政策課長 はい、そのとおりでございます。

○森本委員 見積りするときに業者に頼まれたということですけど、やはり専門の業者の方に見ていただいて、赤枠で囲んであるところは、業者の方が勧められたんですか、この写真の場所の

ところは。それとも、ここにしてくださいと言われたんですか。

○出射交通政策課長 昨年度からある程度どの辺りにというところは、ずっとこちらのほうで考えていたものがございまして、そちらのほうを、この辺りでということで、業者に見てもらって、ここなら栈橋のほうは設置可能だというふうなことでお答えいただいております。

○森本委員 確認です。業者の方に、ここだったら大丈夫だという御返事をいただいているということですね。

○出射交通政策課長 はい、設置については大丈夫だというふうにいただいております。

○森本委員 この下の写真で、2種類あるけど、金額的には大分差があるんでしょうか。

○出射交通政策課長 金額としては若干の差がありますが、今回も一律、栈橋のほうは1か所1,500万円予算計上させていただいております。

○中西委員 私は1億8,000万円少しのそれぞれの積算の根拠をペーパーで頂きたいと思います、委員長。

その上で、片上湾は県港湾、伊里漁協は県水産課となっているけど、少なくとも県港湾の場合には、係留ということになるんで、備前市が栈橋を造ったとしても、費用の発生は出てこないですか。例えば鶴海湾の県が造ってるところへボートを留めると年間幾らというのが発生してと思うけど、そういう費用発生は出てこないですか。

○出射交通政策課長 今現在、費用についてのお話は県との協議の中では出てきておりませんが、これについてはまだ見込まれてはおりません。

○中西委員 県の水産課、伊里漁協、これは伊里漁協がここに権利を持っているわけですが、ここここは係留するに当たって、費用の発生はしないですか。

○出射交通政策課長 今現在、そちらのほうの費用は見込んでおりません。

○中西委員 でも、ただというわけにはならないでしょう。費用が幾らかかるかというのは、県とも、いや県に相談したら、それは無料で使ってくださいと言われるかも分からない。しかし、少なくとも見て、県がここへ防波堤を造っている鶴海港ということになっていますし、伊里漁協にしても、防波堤を造って管理をしないと、その内側に留めるとなると、ただということにはならないんじゃないか。その費用の問題について全く相談してないというのは、私はどんなもんかなと思う。

財政でいえば、備前市と岡山県を比べると、多分岡山県のほうが台所事情が悪いと思う。そういうところが備前市のようなロサンゼルスもツアーに行かれるようなところが、私は、ただで留めてさせてあげますよと言わないと思う。

○出射交通政策課長 今後、協議の中でそういったものが必要ということになれば、また予算計上させていただきたいと思います。

○中西委員 私は係留施設をここに造りたいということ言うてくるのであれば、その後の費用の件も含めてきちんとここで、この委員会で答えられるようにしていないとまずいと思う。

初年度、7年度から発生することになれば、係留施設の費用は今年度の予算についてるわけですから、維持管理費もそれに伴ってついてこなければいけないと思います。

今日はないんでしょうか。石原参与いかがですか。

○石原市長公室参与 先ほどの青山委員の御質問にお答えをさせていただきましたように、いろいろ課題はそれぞれであるんじゃないかというふうには思っておりますので、そういった中で協議を進めていく過程の中で、そういった論点も整理されてくるものではないかなというふうには思っております。

いずれにしても、所管の委員会等を通じまして、現状報告、そういったのをさせていただく予定、思っておりますので、今後、そういった経費の発生が見込まれるということになりますれば、また議会のほうに御提案、説明をさせていただきたいというふうに思っております。

○中西委員 私はそういう泥縄な話はやめてほしいと何回も予算決算審査委員会でも今までも出てきてますが、予算を通した。県との協議はしていなかった。そういうものばっかしじゃないですか、今まで。今回だって、ここまで出して、建設費用も出してくるわけですから、今後の維持管理の費用についてもきちんと出してこない、これは議案とは言えません。

○石原市長公室参与 予算を伴わない時点において、関係者と全ての協議を調べて、準備万端でもうこれが全てですという形で御提案ができるのが、一つの理想形ではないかというふうな御意見であろうかというふうにお受け止めをさせていただきます。

しかしながら、現在の状況といいますのは、スピード感を持って船の就航までに合わせて協議を進めていく。内々にはお話をさせていただいておりましたが、やはり正式な予算が整った段階で、本格的な協議というような、先方の御意向も踏まえつつ、あらゆる協議の中で課題を整理していくことができるといふ思いでいるところでございます。

御意見はしっかりお受け止めをさせていただき、よりスムーズに物事を進めて取り組んでまいりたいというふうに考えております。

○中西委員 県の管理費用については、話をしたことがないと思う。もう一つ、今の参与の話を伺ってみても、この栈橋に関わる年間の経費、維持管理の経費は幾らですか。これは業者にいろいろ見積りを取ってもらった以上、栈橋の安全点検とかがあると思う、所定の。その維持管理費は幾らですか。

○出射交通政策課長 維持管理費につきましては、今現在見込んでおりません。

○中西委員 維持管理費はかからない栈橋ですか。たくさんの人が乗り降りするところの栈橋について。日生大橋を造るときに、維持管理費は年間幾らかかるんならといたら、100年か10年で300万円言ようたのが、何と5年で3,000万円ですよ。その維持管理費はどうして考えられなかった。

答えられないなら、答えられないで結構です。考えたことがなかったんでしょうから。

○石原委員 同じページの上から2番目の工事設計監理委託料1,500万円について御説明い

ただければ。

○出射交通政策課長 こちらのほうは、日生駅前に設置予定の休憩所のものになります。

○石原委員 先ほど中西委員がおっしゃった観光施設整備工事1億8,200万円の内訳は、トイレ、栈橋等々含めて後刻出てくるでしょうけれども、今おっしゃった工事設計監理委託料1,500万円は、栈橋整備に係るものではなく、専ら日生の駅前の港辺りの工事に係るものでよろしいか。

○出射交通政策課長 はい、そのとおりです。

○石原委員 工事請負費の観光施設補修工事はどちらの施設の補修になるんでしょう。

○横山日生総合支所長 今回3件上げさせてもらっています。内訳を言いますと、大多府にある宮下海水浴場のトイレの補修工事、それと宿泊施設の「かぜまち」のトイレの洋式化、そして歳入でもありましたまほろば管理道の整備工事が2,310万円となっております。

○石原委員 137ページの需用費、消耗品費の中で400万円について御説明いただければ。

○出射交通政策課長 こちらのほうは、観光船の乗組員の制服代です。今回、ドーンデザインの研究所に、船と併せて制服なんかもデザインをお願いしておりますので、その決定した暁には、そのデザインで制服を作るということで予算計上させていただいております。

○石原委員 船も遅れながらも完成に向けて帆を進めておるでしょうから、それができた暁には、乗組員の方もこういった消耗品も必要になってくるでしょうけど、400万円で何着分見込まれておるんでしょうか。

○出射交通政策課長 替えも要りますので、10人で2セット20万円と見込んでおります。

○石原委員 お配りいただいとる資料が回収される意味がよう分からんけど、何だったんですか。

○出射交通政策課長 最初に御説明させていただきましたとおり、こちらのほう、まだ協議の段階で変更になる可能性もございますので、今回は皆様の予算の審査がしやすいように、イメージしやすいようにお出ししたものでございますので、一旦回収させていただきたいと思っております。

○石原委員 本来なら、そろそろ完成がされて、年度当初から運航が開始される見込み、スケジュールで進んでおった事業について、この期に及んでこういう形で船着場であったりがまだこれから協議です、県に対してもそう、いろんな面で維持管理、運営について、運航についてもそう、予定どおり仮に完成しとったら、どんなことになっとったんじやろうかなと、改めて感じながらのやり取りがございましたんで、財源については後ほどまたお願いします。

○山本委員長 休憩します。

午後 2時14分 休憩

午後 2時30分 再開

○山本委員長 休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

○石原市長公室参与 先ほど石原委員からも財源内訳、事業費の内訳ということで、後ほどペーパーで提供をさせていただきたいと思いますが、まず参考資料に事業費内訳なども出ているページがございますので、参考資料の50ページ、まずは口頭にはなりますけれども、まず財源内訳を、参考資料、お手元50ページ確認いただけますでしょうか。

予算書は139ページになりますが、参考資料の50ページの商工費の3段目に、観光船待合所等整備事業、それからその下、観光船桟橋整備工事ということで、それぞれ事業費が1億3,700万円と6,000万円、合計しまして1億9,700万円の2段書きでの事業が掲載されているかと思います。

こちらの1億9,700万円につきましては、予算書139ページの工事設計監理委託料1,500万円と工事請負費の観光施設整備工事1億8,200万円、この合計と合致するというものになります。

1億3,700万円の内訳としましては、市債の欄に1億3,680万円、これは過疎債になります。

それから、その右横、その他で11万円、これは企業版ふるさと納税基金からの充当になります。残りの9万円が一般財源ということになります。

それから、2段目の桟橋工事の6,000万円につきましては、その他の欄に6,000万円、全額こちら振興基金を充当しているというものでございます。

休憩所、桟橋についての事業の内訳と財源内訳については、まず口頭で以上のように参考資料記載のとおり説明をさせていただきました。後ほどまたペーパーでもお示しさせていただきたいと思います。

○松本委員 ちょっと今、いろんな矛盾出たと思うけど、私、一般質問で市長とやり取りしたけど、市長どう答えたか覚えていますか、この桟橋なぜ造るんですかということで。

市長は、インバウンドとか、外のお客についてじゃなしに、この周辺に住んでる人たちが利用しやすいように、こういう桟橋を造ると述べたと思うけど、どこまで本音で言ったか、ちょっと僕も市長のことだからよく分かりませんが、答えにくかったらいいですけど、石原参与と出射課長、あなた方はもしこの船が出たら何回ぐらい乗りますか。

まあいいです。何が言いたいかというと、私は市長にも言いました。近隣の人たちを対象にして、近隣の人たちが乗りますかと、1回や2回は乗るけど、それ以上乗ると思いますかと言ったら、市長は答えなかったですけどね。この桟橋を造る周りの近辺の人たちの要求になってるかどうかですよ。ここへ桟橋を造って、船が巡航して、沖合に出て、瀬戸内海の島々を巡る、こういう企画を住民がどれだけ要求してるかということ。1回や2回は珍しくて乗るかも分かりませんが。私、前の質問でNORINAHALLE、日生の離島の船がどれぐらい乗ってるかということを問うたけど、去年と今年しか答えてくれませんでしたけど、経年的にどうなってるのか、数字は忘れましたけど、その程度しか乗っていないですよ。横における「みしま丸」正確には

分かりませんが、あれは二百何十人乗りらしいですけど、どれほど運航してるかなんですよ。私、そういう状況を毎日、うちの前をNORINAHALLEが通るんですよ。夏や冬の寒いときには、ほとんど乗っていないですよ、観光客は。そういう現実をよく直視してほしいと思う。市長にも何回もこのことは言いましたけどね。そういう観点から見たときに、この栈橋を造る意味が何かということを、もう一回率直に問うてほしいと思う。

さっきからいろんな矛盾とか、経費とか、もろもろ含めて出てきましたけど、やっぱりそもそも論の話が狂っていると思う。そこをぜひ考えてほしいと思う。

市の幹部の方々だけじゃなしに、特に議員の方に私は言いたい。こういう栈橋を造って、住民が乗るかどうかですよ。住民要求が本当にこの栈橋を望んでるかどうかですよ。そのことを、まず原点に返って考えてほしいと思う。

それから、インバウンドを含めて乗る場合に、日生の港を多分利用すると思う。例えばこの栈橋のところに、駐車場が確保できるか。この船がここを回って、お客を拾っていくだけの、少なかつたら、その辺、駐車場あるかも分かりませんが、本当に集客を十分寄せることができたなら、やっぱり駐車場も必要だし、駐車場となったら、この近辺、土地の交渉も必要になってくるわけですよ。一定のお客を乗せて運航するというのを、やっぱり本気で考えてないんじゃないかと思う。

以上、切に私は言いたいです。どうでしょうか。

○石原市長公室参与 石原委員の一般質問に答弁をした市長の答弁内容を、いま一度、復唱いたしますと、市内を周遊し、備前市を楽しんでいただく際の寄港地となるよう、片上、久々井、鶴海、伊里の4か所に休憩所、トイレ、栈橋を整備してまいります。なぜこの4か所かというところでございますが、市長のお考えの中の土台にありますのは、やはりスタートは北前船、日本遺産ということから端を発しているものと理解をしております。そして、その北前船をイメージした観光船ということの建造が議会の承認をいただいてスタートしてきているという現状の中で、もしかしたらです。この観光船は日生だけの観光船なのか、日生にしか停泊しない観光船なのか、インバウンド等を含めて富裕層対象で、何かこうあまり身近な感じを市民の方が抱いていらっしゃるのかどうなのかという点に思いをはせたときに、市長とすれば県外からの観光客やインバウンドはもちろんのこと、やはりこの船は誰のものかと言えば、もう申し上げるまでもなく、市民の財産、船でありますので、まずはやはり市民の方に観光船を知っていただく、愛着を持っていただくということが重要になってくるのではないかというふうに思っております。

備前市の地政学的な観点から見たときに、この東備港の中に日生港のみならず、4か所の適した港があるということは、これも財産でもあります。日生に行かないとその観光船が見ることができない、乗ることもできないということではなくて、市内のより多くの市民の方にその体験をしていただくということが重要ではないかなというふうに、船は造って終わりではもちろんございません。寄港ができる、停泊ができる港も、栈橋も整備して終わりではございません。議会で

御承認をいただいて進んでいるこの観光船の活用というものを、しっかりとセットで考えていく必要があるのではないかと思います。

それから、松本委員も御指摘いただいたように、集客のための環境整備、十分ではないかもしれませんが、船がまず、停泊、寄港、入港できる環境を整えるというものがない以上は、もう日生にしか寄れないのかということになってしまいますので、それではせつかくの観光船も、もったいないのではないのかということは、私どもも痛感しているところでございます。ですから、新たなこの4か所を整備することによって、日生だけに限定はされない、やはり集客というものが一つ大きくあると思います。

それから、この整備が整えば、新たな拠点施設が一つ誕生する、4か所誕生していくということにもなりますので、その地域でいろいろやはり姿が変わってくるのではないのか、そういうことを期待しているんなことを考えていかなければならないというふうにも思っておりますし、1回しか乗らないよっていう方が多いんじゃないかという御指摘もございましたが、何回でも乗っていただくような、やはりそういう興味、関心を持っていただく。せつかく造られて、完成を間近にしてくる観光船を、どのように活用していくかというものは、建造と併せてやはりしっかりと環境を整備していかなければならないと思いますし、子供たちをはじめ、身近な場所からもそういうふうに見て体験することができる、そういう場を提供していくというものも、この備前市内、港は一つだけではないわけですので、それが今回の提案につながってきているんだというふうに御理解をしていただければというふうに思います。

○松本委員 今、石原参与が述べたことは、市長とじっくり話した中で出た言葉ですか。

○石原市長公室参与 はい、直接、間接を含めて市長の思いを私なりにそしゃく理解しているものでございます。

○松本委員 今のはあくまで空想というか、ある意味では妄想と言いたい。別に日生の人が片上にこの船が行ったからといって、ああ外されたとか、何とも思いません、ほとんどが、多分。1000人アンケートを取ってもらったらしいと思う。船が来たから町が、その周辺がなんて思わないほうがいいと思う。理屈は、言ってることは分かります。だけど、現実とあまりにもかけ離れています。

私が言いたいのは、周辺の人とか町の人がどう思っていますかということ、もっと聞いてほしい。私、再三、市長に日生の人が北前船についてどう思ってるか、これ建造の話が出たときから再三質問してます。

もう今の時点できるんだから、これからどうやって集客していくかということを考えましょう、考えんといけんですかという、もう議論の論点変えています。

その挙げ句が、こういう発想で、私はあきれてます。もともと船を造るときに、追加でこんなことを誰が発想したかということですよ。3億円のほとんど倍近くの予算が費やされるわけです。それをできたから仕方ないで、私はいかに集客をするかという議論はしましたけど、こうい

う栈橋を造ったからといって、お客が集まるなんて到底思いません。周辺の住民が何を考えているかということをもう一回調査してほしいと思う。調査というか、聞き取りというか、アンケートを取ってもいいと。そこまではしないでしょうから、それぐらい住民は白けてると思う。何考えとんかなと。

○山本委員長 暫時休憩します。

午後 2時49分 休憩

午後 2時50分 再開

○山本委員長 委員会を再開いたします。

○中西委員 この北前船はいつから、海の上には浮かんでるんでしょうけども、観光船として運航するんですか。

○大森東京事務所長兼名古屋事務所長 常石さんのほうが建造をしてくれておりまして、最終的に艀装も含めて工期は9月末となっております。

○中西委員 常石が造って仕上がるのは9月末だけど、観光船としてこの4つの波止場をくるくると回るのはいつからか。10月1日から回るわけじゃないでしょう。

○出射交通政策課長 建造後にはなるかと思いますが、そこは出来次第ということになるかと思っています。運航については、栈橋ができてなくても、船の運航自体はできたところから進んでいきたいと思っておりますので、時期としては、今はっきりしたことは申し上げられません。

○中西委員 建造前に運航することは私もないと思ってる。しかし、9月末に建造が終わるわけですから、市長がおっしゃられるか、石原参与が言われるのか楽しみにしてる市民の皆さんが乗れるのはいつからか。

○石原市長公室参与 今この時点で、何月何日から就航いたしますという明言までには至りませんが、先日、中西委員の一般質問の資料要求にも提出をさせていただいています製造の工程表があります。8月から9月にかけて効力試験や海上運転という工程が最後の工程になろうかと思えますので、船本体そのものが当然完成した後に、すぐ納品ということではなく、そういった試験と運転を経た後に、実際に使える段階になるということでございますが、これも早く終わることができる可能性もあるというふうにも伺っておりますので、そういった意味で市長答弁の中でも、できるだけ早い段階で実施していきたいということでございます。一つ目安になるのが、契約として9月までの契約を提案させていただいておりますので、そういった時期としては、なろうかと思えますけれども、試験や海上運転を経ての納品が早まる可能性もあるということで、そういったものが整い次第、実際の運航、就航という流れになろうかということでございます。

○中西委員 長い答弁ですけど、中身の全くない答弁で、本当に残念です。恐らく就航するとすれば、燃料費も要るでしょうし、経費も、その制服を着るスタッフも必要になってくるかも分からないし、一般にいつに焦点を当てて考えているのか、そのことがいまだに明らかにならないで、就航式典だけ準備をしていると。いつ乗れるんですか。

○石原市長公室参与 中身がないとおっしゃられましたけれども、時期としてはやはり契約上は9月いっぱいということでの契約議案を提案させていただいております。それが早まる可能性がありますけれども、遅くともそれは10月以降ということになってくるという内容をお答えしたつもりではあります。

○中西委員 建造については、もう9月末になっている。私はそれ以降、建造が終わった後、備前市に引き渡され、どうやって運航するか、委託するか、自前でやるか、観光船として動くのはいつからなんだと、その目標を持っていないとできませんが、10月以降でございますとかというんじゃ、そんなもんは当たり前です、9月末までかかるわけですから。

○石原市長公室参与 説明力不足で大変申し訳ございません。繰り返しますけれども、目標としては10月を目指して進めているというところですので。

○中西委員 もうその話はよく分かりました。その上で、この栈橋はいつまでにできるんですか。

○石原市長公室参与 当然就航までに間に合わせていきたいという目標でございます。

○中西委員 つまり9月末までには造るということですか。

○石原市長公室参与 はい、そのとおりでございます。

○中西委員 栈橋とトイレ、待合所も含めて9月末までにできると思っとけばよろしいか。

○石原市長公室参与 はい、そういう目標で取り組んでまいるところでございます。

○中西委員 大変楽しみにしております。

○松本委員 この観光船は、食堂、パーティーができる船の形にするわけでしょ。そしたら、中でどういうパーティーを運営していくとか、市長に幾らか私なりに考えた積極的な案を提出したつもりですけど、例えばナイトクルージングとか、ビアガーデンとか、そういうイベントを含めて考えたらどうですかとか、やっぱり有機的な船の利用を考えながら行かないと、採算が合わないということを一番心配、運航すりゃするほど赤字が出てくるということを心配している。そういう具体的なことも含めて、もうちょっと利用の仕方とか集客をどうやってやるかを提案してきたつもりです。そのことについてはいかがお考えか、市長に問うてもあまり具体的に言わなかったけど、その後そういう話はされたでしょうか。

○出射交通政策課長 就航後の活用については、当然のことながら考えていかなければいけません。市長公室内で横串でといいますか、公共交通課に限らず、各担当でこの件に関しまして、運航に関しましても、どういったプランが立てられるかということは協議を重ねております。

○松本委員 そのプランの中に、もう少し市民の意見を聞いてほしいとずっと言っている。もう少しちまたの意見を聞くとか、大多府の人たちが何を望んでいるとかを含めて、今度イベントするらしいけど、その一環として散策路、大多府の遊歩道を歩いてもらってどうのこうのと、いろんな企画をされてるそうですが、ある意味では大多府も盛り上げていくか、北前船を盛り上げていくかというPRもどうやってやるかとか、そういうことが聞きたい。赤字運航しないよ

うに。大事なのは、そういうソフトのというか、そういうことがほとんど議論されずに、各論の話をされると言ったらおかしいけど、本末転倒じゃないかと、プラン、どうやって赤字を——赤字という言葉を出しちゃいけませんけど、どうやって積極的に生かしていくか、観光施設として。もうちょっと煮詰めてほしい。要望ですけど、何かあったら言ってください。

○出射交通政策課長 集客に関しましては、市だけでなく、旅行会社とかで広くPRしていきたいと思っております。そういったところで、船だけに限らず、備前市全体を見ていただくような中で、北前船のほうのクルージングなんかも楽しんでもいただくということで、1点だけを見るのではなくって、広く備前市全体を見た観光振興の策の一環として北前船も捉えていけたらいいんじゃないかと思っております。

○松本委員 いみじくも、旅行会社とかなんとか、住民という意見が一個も出なかったですけど、やっぱり地元の人がどうしたらいいんかとかをもう少しモニターする、そういうことは私は望む。旅行会社は日生のことをあまり知りません、多少は知っているけど。住民の性格とか、それから日生諸島がどうだとか、瀬戸内海がどうだとか、そこを知ってる人たちの意見を十分聞くべきじゃないかと、付け加えます。

○立川委員 なるほど、これこうするんだというお話は分かりました。今もお話が出たように、運航、企画、寄港計画、それから活用計画、当然これだけの資金を投入するわけですから、今のよう、いや今からですということではなくて、この議案が議決されるまでに、その企画書が出ませんか。

○出射交通政策課長 企画書といった、はっきりとしたもので御提出できるものは、今現在ございません。企画としてはいろいろ協議を重ねて練っているところではございますが、ペーパーとしてこちらでお出しできるようなものは今御用意できておりません。

○立川委員 お尋ねしたのは、今いろんなお話が出ました。月に1回運航してこういう方向で観光もするというのを、企画がなかったらこれ大変申し訳ないですけど、1,000万円、2,000万円じゃないですよ。というのが大変気になりましたので、一応判断材料として、そういう企画書とか運用、利用計画とか、それは出ないということよろしいですね。

○石原市長公室参与 先ほど課長が申し上げたとおりでございます。

○立川委員 結構です。ありがとうございました。

○守井委員 現在も船は建造しておるということで、タイムスケジュールも、以前資料として頂いたので、それは物事です。から、やっぱしタイムスケジュールを持ちながら、そのタイムスケジュールに沿って物事ができれば、今度はそれを利用するということは当然発生するわけですから、それを利用するにはどのようにしていったらいいかというのは、当然考えておかなければならないことだと思う。どちらにしましても、その計画はできなければならないと思いますので、ぜひともそういうプランはやっていただきたい。タイムスケジュールがある程度いろんな事情で早くなったり、遅くなったりすると思いますけれども、全体の計画をぜひ立てていただいて、こ

の事業費についても、どういうプランニングで予算が通れば動いていくかというあたり、いわゆる工程表はあるべきだと思いますし、その目的もはっきりするような形になると思います。あくまでも、目標であって、何が起きるやら分からない、今の御時世ですので、災害が起きるかも分かりませんので、あくまでも工程表は目標をつくって、それを実施するようにやるべきだと思いますので、それは当然あるべきだろうと思います。早急にプランニングはやるべきだろうと思います。

また、実際それはそれぞれのプロといいますか、道に通じた方ができて初めて実施が可能になるということで、これは船の絡みで、船に対していろんな条件、精通された方によく御相談されて、その計画をぜひ立てていただきたいと思います。後の利用、そして運航、その中での利用、それを市民の皆さんにどうやってPRして利用を促進するかということをぜひ進めてもらいたいことを要望しておきます。何か御意見ございましたら、おっしゃっていただきたい。

○石原市長公室参与 もう御指摘いただいたこと、内容に尽きるものというふうに思っております。繰り返しになりますけれども、やはり一番重視しなければならないことは、安全・安心な運航が、体制を整えた上で就航できるということが第一義であろうかというふうに思っております。

所管の委員会を通じまして、都度都度、状況の報告を含めて、実際の運航管理の形態をどのような形で進めていくものになるのか、またそれによってどういったプランを御提示させていただくことができるのか、そういったことを先ほど守井委員おっしゃっていただきました内容のプランを早急にお示しして、御相談なり、御意見をいただければというふうに努めてまいりたいと思います。

○松本委員 日生に造る待合所、どういうイメージを抱いとんか分からないけど、結論を言いますと、やっぱり造ったは造った、誰も留守番がおらんとか、閑古鳥が鳴きようとか、そういう形にはしてほしくない。そうならないためには、どういう設備、どういうプランを練るか、これは非常に大事だと思う。いい案かどうか分かりませんが、例えば商工会の人たちがとか、日生の観光協会とか、まあいろいろあると思うけど、やっぱりそういうちまたの意見を聞きながら、日生に造るんなら、日生のメリットも含めてあるような施設が欲しいと思う。単なる待合所とするか、にぎわいにするかを含めて考えてほしい。私はもう掘っ建て小屋でもいいと思う。むしろ言ったら、造らないほうがいいと思う。

瀬戸内観光、フェリーもそうだし、大生汽船も造っていないですよ。観光船だから造らんといけんとかという、そういう理屈もない気がするし、何なら造らなきゃ造らんでもいいと思う。それこそ県が、埠頭に、岸壁に横づけすりゃええんです。横づけすりゃ、栈橋も要らないし、それからちょっと横から出入り、乗り入れする工夫もできるだろうし、具体的には大生汽船と提携するとか、どこかと提携するとか、そういうことを含めりゃ、運航するのに全然費用がかからない工夫は、幾らでもできると思う。それで、もしこういうものが必要だと、お客が集まれば、それ

からの話でええと思う。

以上、日生の待合所、そういうイメージについて、何か教えてください。

○石原市長公室参与 先ほど観光施設整備工事1億8,200万円の内訳を説明し切れておりませんでした、そこからまずお話ししますと、日生の休憩所、これトイレつきを伴うもので5,000万円になります。それから、4つの休憩所とトイレでございますが、休憩所につきましては、1か所当たり300万円掛ける4か所で1,200万円、トイレにつきましては1か所1,500万円の4か所で6,000万円、繰り返しになりますと、日生の休憩所、トイレつきを伴うものになりますけれども、これは5,000万円、それから4か所の休憩所、300万円掛ける4か所で1,200万円、トイレが1,500万円掛ける4か所で6,000万円、4か所の休憩所とトイレは合計で7,200万円になります。

それから、栈橋の整備工事に6,000万円というのが1億8,200万円の内訳になります。

それから、お尋ねの日生の休憩所でございますが、イメージといたしましては、木造平家建て、面積については約80平米、それから屋上といいますか、屋上にも上ることができるような形、そして前側にせり出すようなデッキ部分が45平米ぐらいのイメージで考えているところでございます。

○山本委員長 商工費で質疑のある方。

○尾川委員 新規事業等の概要の中で、今様北前船「備前丸」の竣工記念事業について、詳しく説明して。

○片岡観光・シティプロモーション課長 新規事業シートに上げさせていただいている内容について、もう少し詳しく御説明させていただきます。

先ほどからちょっとお話がありました北前船を模した観光船の完成の間近ということになりますけれども、今回このイベント事業に関しましては、日本遺産の北前船というところで、会場を大多府島に設定をさせていただきました。そして、ちょうどこの期間が大阪国際万博が10月13日まで開催をされているんですけれども、今回、その万博のスペシャルサポーター、日本国際博覧会スペシャルサポーターの「帆船BUUE OCEAN みらいへ」というものが、2年前、2023年頃からですか、万博のPR活動を、北前船が就航した大阪から北海道に向けての航路を就航しながら、万博のPR、またこの「みらいへ」というのが、海洋問題とか気候変動とかという問題を訴えながら、この万博のPR活動を2023年頃から実施しているんですけれども、偶然この8月の末に、瀬戸内の備前市近郊を就航しているということで、かつその各寄港地を巡ったりして、イベント等にも参加されているということをちょっとお聞きしまして、万博期間、また先ほどの観光船の完成の間近ということもありまして、併せてこの大多府島の近郊でこういった記念事業を実施してはどうかということで、企画させていただいたものになります。

新規事業シートにも書かせていただいておりますが、この帆船が到着をしましたら、帆船につ

いてはちょっと船の下の水深の深さが5メートル以上ないといけないということで、ちょっと内港には入ってはこれないですけれども、大多府島付近であれば、何とか就航が可能ということでしたので、偶然にも北前寄港地としての大多府島でできるということで、この期間に来ていただくことで、そして大多府島近くに泊まっていたときに、その帆船の中に乗って、体験プログラムが約60分から90分ほどできるということですから、ちょっと制限になりますけれども、募集をかけながら、体験プログラムを実施させていただこうと思います。

あわせて、大多府島というところで、夏休み期間の終わりがけにはなるんですけれども、大多府島の史跡巡りであったり、自然遊歩道を散策、ボランティアガイドの方にも御協力いただきながら、散策していただくことで、日本遺産の認定の大多府島、改めて発見していただくこと、見ていただくいい機会になるかなというふうに考えております。

また、その週末、土日には島内でのキッチンカー、飲食ブースも設けながら、そこで食も楽しみながら、備前市の日本遺産の寄港地を知っていただく機会ということで、また別の日に来ていただく体験をしていただける機会になるかなというふうに考えております。

そして、もう一つ、新規事業シートに、一番最後に書かせていただいております、8月30日限定でということで、先ほどもちょっと御質問がありましたけれども、ランタンフェスティバルを、LEDランタンを夜間に、これも人数制限になりますけれども、大多府港の上空に浮かせさせていただきます。灯籠等もつけながら寄港地の夜ですね、そういったランタンが浮かせる風景を皆さんに、限定になりますけれども、体験していただくというような内容で、こういった事業を考えております。

○尾川委員 これは万博の一行事になって、備前市だけじゃなしに、北前船の関係の港へはこういう形でやっていこうということか。

○片岡観光・シティプロモーション課長 この「BLUE OCEAN みらいへ」というのが、北前の航路を巡りながら万博のPR活動を2023年から実施されておまして、途中途中でその北前寄港地なり、イベントに参加されたりということでされているということで聞いております。

○尾川委員 北前船のコースを通るんじゃないけど、そのスケジュールの中で8月の下旬に4日間、大多府へわざわざ来ていただくと、そのときにいろいろ備前市としては行事をするという考え方になっとるわけ。

○片岡観光・シティプロモーション課長 はい、そのとおりでございます。先ほども御説明がありましたけど、ちょうどその新しい観光船も試験運航を実施しているということでしたので、ちょっと乗船は恐らく難しいかもしれませんが、港に着けていただいて、参加された方に見ていただくというようなこともできるかなというふうに考えております。

○尾川委員 近くでは、例えば下津井とか、室津とか、室津は北前船の会員になっとんか忘れたけど、岡山西大寺がなっとる。そういうところは企画は予定してない、と思うけど。

○片岡観光・シティプロモーション課長 今すぐ手元に資料がないですけれども、この「BLUE OCEAN みらいへ」を運航されておりますNPO法人ゼリ・ジャパンさんが、2023年から北前寄港地で実施されてるイベントに呼ばれてから参加されていてってような感じになりますので、実際に今回は偶然私のほうでちょっと発見したものですから、お声をかけていただいたら、うちのほうに来ていただけるというふうに、まだ内諾の段階ですけれども、御了承いただいております。

○尾川委員 集客はどのくらいを予定しとん。大多府に持っていくと思うけど、その辺の集客計画は、どのくらい集めようと思うて、PRは万博がやってくれるんか、それとも備前市で独自の公式行事か、備前市だけの企画なんかということをお聞きしよんじや。

○片岡観光・シティプロモーション課長 たくさん集客を見込みたいところではあるんですけれども、帆船に乗れる1回の乗船者数が約60名ということで、約60分程度の体験をされますと、どうしても大多府島へ渡って、そこから帆船に乗る時間も考えますと、1日3回が限度かなと思っております。

現状、28、29、30、31日と今予定しておりますけれども、28、29日に関しては、備前市内の小・中学生に体験していただける期間を、市内の小・中学生に体験していただく期間を設けて、30、31日に関しては、外部の方の一般参加というふうなことも考えたいなと思っております。この募集に関しては、当然ながら「帆船 BLUE OCEAN みらいへ」が万博につながっておりますんで、万博の中でもPRができるかなと思っておりますので、県外からの集客も見込めるんじゃないかと思っております。

○尾川委員 この帆船は、サポーターじゃから、「につぼん丸」が来るんかな。その帆船は決まったりやへんのか、まだ。

○片岡観光・シティプロモーション課長 写真をお見せすればよかったんですけれども、インターネットで見ればすぐ分かるんですけれども、「につぼん丸」というのが、昔のそういう帆船の形です。全長が約52メートルほどある、3本のマストを持つ帆船になります。

○中西委員 ネットで見るとなかなか来客、集客力があるというふうに書かれてるけど、この船を4日間、大多府にお呼びするとなると、お幾らぐらいかかるんですか。

○片岡観光・シティプロモーション課長 今、現状お聞きしているのが、4日間で約363万円ほどです。

○石原委員 万博の開幕が近づいておりますけれども、令和6年度債務負担でパビリオンへの出展費用がございましたけれども、その費用はどこへ計上されとんかと。

○片岡観光・シティプロモーション課長 12月の議会で債務負担で1,500万円計上させていただいておりましたが、当初、年度替わりすぐに、万博開催すぐに出展をということでしたが、出展側との会場の設営云々ということで若干ずれ込みを起こしまして、8月13日からの展示に——開催期間は約1か月ですけれども——に切り替わりまして、申し訳ありません。当初、債

務負担でということであつたんですけれども、今回この事業に関しましては、現在、備前焼振興課のほうでされております巡回展事業、瀬戸内市さんとの巡回展事業の関係で、万博へのPR事業ということでさせていただいておりますので、実行委員会の事業負担金の中に含めさせていただいております。

○石原委員 瀬戸内市との連携事業負担金6,500万円の中に万博に係る費用が含まれておると。

○片岡観光・シティプロモーション課長 当初、債務負担で上げさせていただいた1,500万円は、その中に含めさせていただいております。

○尾川委員 139ページ、備前陶芸センターの運営補助金150万円。250万円から下がったと思うけど、何かしやうることと言やうことと違ふてくるなと思つて。担当者が困るんじやろうけど、本当これで窯でたけるかと思つてね。よそやこう、県がやりよんじや、要請で。もっと本当に陶芸センターなんかは、市でもっとバックアップして、専門学校ぐらいするやうな勢いで。削つて、削つて、150万円になったらどんな金になるか知らんけど、どのくらいの運営しようと思ふとんか、その辺聞かせて。

○桑原備前焼振興課長 ありがとうございます。陶芸センターに関しましては、陶芸センターが電気窯を貸すであるとか、独自で作品を作つて卸すであるとか、収入の部分が幾分かございます。そのあたりを含めて、赤字補填的ではないですけれども、額を決定をしてお出しをさせていただいてるやうな状況の中で、昨年実績を見まして、今年度の予算を計上させていただいたところでございますので、今後我々がどう関与していくのか、その辺、事業展開によっては、補助金の在り方も考へていくべきかなとは考へております。

○尾川委員 売上げが収入になりやうろうと言つてもええけど、少しは余裕を持たせて、設備投資もせにや、トイレどねえなつとんか知らんけど、もうがたがたじや、あそこの建物そのものが。県からもらうときに、普通は更新して、きれいにして、それを受けるようにせにやいけんの、県知事も金ねえから、困つたから受けというて、こつちもはね返すわけにいかんから受けたと思ふ。余裕を持つて向こうも要請するやう、もっと希望者が多くなるぐらいにしたらええ、言うだけになるんじやけど。こやうなところの配慮が足らんと思つて、要らんことを言わせてもらよんじやけど、何かあつたら。

○桑原備前焼振興課長 委員御指摘のとおり、施設の老朽化つていうのは、そのとおり分かるところでございます。今後あの施設をどうするのかというところも含めまして、今後検討させていただければなと思ふますので、御理解いただければと思ふます。

○中西委員 38ページの負担金補助及び交付金の観光推進事業補助金の内訳を教へていただけませんか。

○片岡観光・シティプロモーション課長 観光推進事業補助金に関しましては、300万円が例年させていただいております岡山備前SEA TO SUMMITになります。そして、400

万円が備前花火大会、200万円が地域花火補助金ということにさせていただいております。あと残りは、三石です。

○瀬尾三石総合支所長 残りの100万円が7年度から新規で三石の観光事業推進のイベントに対して補助金を考えております。

○中西委員 モンベルとか花火は、昨年度もあったけど、三石の観光推進事業はどういう事業をされるんでしょうか。

○瀬尾三石総合支所長 現時点では、三石灯りの街とか、観光資源である深谷の滝まつりのイベントに補助を充てたいと考えております。

○中西委員 三石灯りの街の事業は、観光に分類されるんですか。なるんですか。

○瀬尾三石総合支所長 いろんな意味合いがあると思うんですけど、三石内外からかなり人の動きがあると考えますんで、この観光事業として捉えまして、三石の活性化につなげたいと考えております。

○尾川委員 備前焼まつりも1,000万円が400万円に下がっている。今度は何か委員会とか、早う開いた看板が立とったけど、どういうふうにその400万円で運営していこうと思うて、祭りの規模は大きくして、費用は下げたいというのは本音じゃけど、その辺はどういうふうにお考えかお聞きしたい。

○桑原備前焼振興課長 令和6年度に関しては、40回という節目の開催でもございました。そういうこともあって、伊部小学校をメイン会場に実施をさせていただいたところではあるんですが、今後どういう形が本当にいいのかというのを、我々も現状、こうだということにはたどり着いておりません。今年度400万円というところで、最終的に予算計上させてもらうような形にはなっておるんですが、例年企業様含め協賛金をお願いするようなところもございますし、作家さんからの負担金といったようなところも加味しながら、全体的な組立ては今後考えていきたいと思います。

委員御指摘のように、令和6年度実施に至るまで結構時間がかかってしまいました。作家含め関係団体との調整もしながら、経費を削減というか、どういう形でできるかというのは組み立てていきたいと考えております。予算については、今年度400万円というところではございますが、できる限り協賛金なりのお願いをして、可能な範囲で実施ができればと思っております。

○尾川委員 何ぼやっても、擦れ違いというか、テントを作るといっても、設営費用というて決まっていると思う。それがこの1,000万円の中でやりようたんかどうか。去年はそういう節目の年じゃった。その前も1,000万円、何も去年だけが1,000万円じゃねえから、その前も1,000万円。その前はざっと1,200万円。だんだん下がってきとるから、知つとるとおりで。前にも言うたように、本当企業に何ぼ負担かけるんならと、本当集まるんですかということ質問しよう。

○桑原備前焼振興課長 委員御指摘のとおり、企業様にお願いをするケースというのは、企業版

であったり、花火であったり、祭りであったりというようなところがございます。ただ、我々としては、より何というんでしょうか、充実したもの、町としての祭りというところで御理解をいただけるようお願いをするしかないかなとは思っております。

なので、ある意味、イベントにそういう企業様も御参入というか、御参加をいただけるような形というのも考えていく必要があるのかなと思いますし、企業様もやっぱりPRの場となるような形というのは考えていきたいなと思っております。

○尾川委員 全体として、私に所属することよりは、公のほうに費用を使うたほうがええということを結論的には言いたいわけ。一個人に所属するんじゃないしに、全体に交付する方法のほうが公平性が高いという考えで言よう。一番が本当、備前焼まつり、隆盛でええようにやってほしいと思う。先立つものがなかったらでさんのじゃねえかなと、そういう指摘させてもらうとく。

○中西委員 去年から気になってたけども、商工費の商工振興費の負担金補助及び交付金のところと、観光費の負担金補助及び交付金と少し整理ができるものがあれば、整理をしたほうがいい感じがする。例えば観光費の負担金補助及び交付金で備前陶芸センター運営補助金が観光費になるかどうか。言えば商工費の商工振興費のほうがいいのかも分からない。先ほどの三石の灯の街、それからモンベル、花火ですね。この負担金、商工費と観光費は、一度部内で検討することができれば、一回整理をしていただけたらどうかと思う。

○桑原備前焼振興課長 そのあたりは、財政当局等も含めまして検討はさせていただこうと思います。

○中西委員 ぜひ一度どちらのほうがふさわしいか、やっぱり考えていただけたらと思います。

○石原委員 37ページの観光費の役務費の中のその他保険料の内訳内容についてお聞かせいただければ。

○片岡観光・シティプロモーション課長 観光シティプロモーション課のほうが58万円と計上させていただいておりますが、こちらについては約50万円が関西万博等で備前焼の展示等を考えております。それに関する動産保険料ということで約50万円計上させていただいております。

また、8万円に関しては、先ほどもお話がありました振興イベント等で実施する際のイベントに係る保険料として8万円上げさせていただいております。

○出射交通政策課長 その他保険料、交通政策課分についてですが、観光船の船舶等保険料になります。旅客保険とか賠償責任、船舶保険なんかの予算を計上しております。

○石原委員 500万円が船に係るものということで、完成が9月末を目指してなんで、半年分として500万円ということで、積算根拠としてはよろしいでしょうか。

○出射交通政策課長 こちら保険料ですので、年度をまたぎますけど、期間を一括で払うようになるかと思しますので、1年間分のもので計算しております。

○中西委員 半年であっても、1年分の保険料をまとめて払わなければいけないんですか。つま

り船は9月末にしか完成しないわけですよ。だから、早く動いても10月1日。となると、半年分ぐらいしか動かない。けども、保険料は1年間分を納めなければいけない。

○出射交通政策課長 車の保険でもそうですけど、加入してから1年間分の金額を年払いとして納めるということなので、加入してから、10月からであれば、次の9月末までとか、そういう感じでの支払いを考えています。

○山本委員長 よろしいですか。

暫時休憩いたします。

午後 3時43分 休憩

午後 4時00分 再開

○山本委員長 委員会を再開いたします。

委員にお諮りいたします。

この後、総務関係がありますが、このまま続けますか。それとも委員会予備日を使いますか。

○守井委員 私は初日じゃから、5時なら5時でやめていただいて、予備日を使っていたきたいと思います。

○石原委員 5時の御発言もございますけど、取りあえず今日、市長公室のところまでは終える形で行かれて、予備日を使う、執行部の御都合もあるか分からんけど、総務までといたら何時になるか分からんけど。

○山本委員長 でしたら、秘書課、広報戦略課、ふるさと納税課、観光・シティプロモーション課、備前焼振興課、交通政策課、備前市立美術館準備室まで今日終わるということでよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

予算書に戻ります。土木費を審査いたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に消防費、消防費は155ページまで。

○青山委員 155ページの消防費の19節負担金補助及び交付金の自主防災組織活動事業助成金167万円、この内訳、どのようなことに使われるか。

○竹林危機管理課長 こちらの自主防災組織への助成金ですけども、項目として幾つかございますけども、自主防災組織の防災資機材の購入、こちらに対する助成金が内訳としましては104万円見込んでおります。あと地区においてハザードマップを作成する事業、こういったのに50万円、あと防災士の育成事業、こちらのほうが13万円ということで、トータル167万円の計上とさせていただいております。

○青山委員 防災機材の購入ということですけど、一度購入したら、何年かは購入できないとか、そんな基準があるか。

○竹林危機管理課長 こちらは3年ごとの助成金となっております。

○青山委員 防災士の13万円は2人分という見積りでよろしいか。

○竹林危機管理課長 2人分となっております。

○青山委員 3人、去年受けさせてもらってたけど、追加があれば予備か何かでということでは
きるか。

○竹林危機管理課長 大枠で先ほど申しあげました167万円措置しておりますので、その中で
対応できる範囲は対応させていただきます。

○中西委員 154ページの委託料の福祉避難所設置運営委託料14万7,000円、障害を持
った方、あるいは高齢の方もそうですけども、福祉避難所は、やっぱり大切なところだと思っ
けども、実際にはどのような委託がされているのでしょうか。

○竹林危機管理課長 災害等の発生時に、福祉避難所に登録いただいている事業者さん、そちら
のほうで避難者を受け入れていただいた場合に、こちらの委託料をお支払いするという事で運
用となっております。

○中西委員 何か基準はあるか。

○竹林危機管理課長 受入れ避難者1人に対して1日7,000円ということで、規定させてい
ただいております。

○森本委員 154ページ、一番上の需用費、消耗品費で防災備品等になってると思うけど、こ
れ詳しく内容を教えて、何を防災備蓄に。

○竹林危機管理課長 こちらのほうが、防災用の消耗品、一般の消耗品を25万円、その他20
0万円については、備蓄用の食料品とか、そういった備蓄品の購入を予定しております。

○森本委員 具体的に買う項目とかはまだ決まっていないということですか。7年度は何をそろ
えるとか、そういうのはないですか。計画的にそろえられてるとは思ってたけど。

○竹林危機管理課長 主には非常食、それから飲料水、そのあたりを順次そろえていくように
なるかと思います。

○守井委員 153ページの18節備品購入費の船舶5台、これは耐用年数はどのくらいか、
1,500万円の購入費の内訳です。

○竹林危機管理課長 はっきりした耐用年数はちょっと確認はできておりませんが、新艇を
買うとかなりの年数がもとうかと思えます。

○守井委員 20年以上もつか。

○竹林危機管理課長 その見込みではございます。

○尾川委員 今の関連で、新規事業の概要の説明もあるけど、目的、何でかというのを書いて
いるけど、老朽化ということじゃけど、今まではリースで借りとったと理解しとったけど、その辺
はどういう状況の変化があったんか説明して。

○竹林危機管理課長 今までは中古船等を消防団のほうで業者がそういった中古船が発生した場
合に、安く買い受けて、そちらのほうを修繕を加えながら利用していたということですけども、

昨今、そういった中古船の購入も難しいと、財源的にも団のほうも厳しいというようなところで、今回は市のほうで購入のほうと。

○尾川委員 これらがどっちかといったら、観光のような気もするけど、その辺の所管、考え方は。

○竹林危機管理課長 この放水演習には、市外の皆様も観覧に訪れるということで、そういった面も確かにあろうとは思いますが、あくまで日生方面隊の放水演習ということで、訓練の一環として実施しているということで認識しております。

○尾川委員 この船は、木造かな、どんなものでできとん。

○竹林危機管理課長 過去には木造船もあったけども、現在使用しているものについては、FRP製になっておりまして、今回購入を考えてますのも、FRP製のものを予定しております。

○尾川委員 木造船がええと思うが、250万円ぐらいじゃできんとも思うし。せっかくじゃったら、グラスファイバーみたいな、レジャーボートみたいなんじゃないしに、木造で造りゃええのと思う。その辺の考えはなかったわけ。高いからというんで、こっちを選択したということで理解したらええ。

○竹林危機管理課長 木造船がどの程度費用がかかるかというところまでは確認はしていないですけど、恐らくかなりの金額になるんじゃないか。また、FRP製のほうがやはりそういった放水演習に利用するのに、今では利用しやすいということでお聞きしております。

○尾川委員 備蓄品の話も出たけど、備蓄品の公開というものと、避難所の環境ということで、今まで議員もいろいろ言うてきとるけど、その辺の対応は。今度の予算に少しは考え方を生かすんじゃないかなという動きは。トイレの数や、1人当たり面積は、11月13日の山陽新聞の記事じゃから、予算には間に合うと思うけど、備蓄品とかについて、災害対応のそういうものについての予算は、ある程度加味した形で考えられとんかなというのをお聞きしたい。

○竹林危機管理課長 備蓄品につきましては、6年度かなり予算を措置いただきまして、食料品等も備蓄を増やしてっております。今年度よりは若干予算措置のほうは減るのは減るんですけども、200万円程度でかなり目標数に届くぐらいの整備はできるんじゃないかなという思いでは予定しております。

○石原委員 155ページの負担金及び交付金、研修会等参加負担金30万円、災害ドローンに係る資格取得費の説明がございます。何人分の取得費になるか。

○竹林危機管理課長 今回購入するドローンを予定してますのが、一般の撮影用で3台、それから若干の荷物が積載できるようなドローンを1台というところで考えておりまして、免許費用としては、積載利用の場合に必要な免許、そういったものに対応するように、取りあえずは1人分ということで、こちら見込んでおります。

○石原委員 これまでに市の職員の方でこういったドローンの操縦の資格を現状何名ぐらい持たれとんか。

○則枝広報戦略課長 広報戦略課でドローンの免許資格を3名が取っております。今現在、広報戦略課には1名、あと市の他部署にそれぞれ2名です。

○石原委員 ここで購入される、さっき竹林課長がおっしゃった、ちょっと大きめの運搬機能も備えたものを操縦するのに、ここで30万円でお一方が取得をされて、それからその他の3台、3機、撮影機能搭載というドローンは、資格とドローンの種類とかが詳しくないけど、その方々3名で撮影用のものは操縦できるということによろしいか。

○竹林危機管理課長 そういう格好になろうかと思います。

○石原委員 こちらの防災に関する事業債を充当されて、災害も頻発しておりますけれども、全国的にもこういう形で、災害用ドローンの導入も次々と進んでおるといって捉えておったらよろしいか。

○竹林危機管理課長 既に消防本部等でしたら、かなり導入が進んでおるように聞いております。今後、来年度につきましては、自治体等も購入の予定もあるということは何件かお伺いはしております。

○山本委員長 消防費よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に移らせていただきます。

次に、教育費ですが、執行部にお聞きします。156ページから175ページの間は、これは審査対象がありますか。156ページから175ページの間ですけど。

ないようですので、176ページの10款教育費、6項社会教育費、文化財保護費、文化施設費から始めさせていただきたいと思います。

質疑のある方の質問をお受けいたします。

○尾川委員 177ページの負担金補助及び交付金、北前船の日本遺産推進協議会負担金、これは50万円がずっと連続して、最初のときに1,600万円、このあたりは日本遺産絡みのほかの教育遺産とか備前焼なんかの会費というか、負担金の考え方は、どう考えとんか説明して。

○片岡観光・シティプロモーション課長 本市にあります日本遺産、3つございますけれども、全てがシリアル型ということで、他の市町との共同で日本遺産認定を受けておりまして、各日本遺産における協議会をそれぞれ立ち上げています。北前船に関しては北前船日本遺産推進協議会、それから備前焼に関しては六古窯日本遺産活用協議会と、あと教育遺産についても協議会が設置されておりまして、それぞれの協議会で定めた負担金を支出しておりまして、北前船の日本遺産推進協議会についても、これはもう全国52今あります、その市町、1市当たり50万円ということで負担金が定められとる分で負担金を計上させていただいております。

○尾川委員 北前船関係で、議員でも北前船じゃねえという意見もあるけど、西大寺はこの間、認定されて、大会をやったりして、うちの市長も来とった。あんたらは来とったかどうか知らんけど、結構いろいろ掘り下げて分析しとった。備前市とすりゃ、それだけの遺産、それだけの財

産はないかどうか知らんけど、ああいう計画は、やるというか、みんな日本遺産じゃねえという
ことの認識があるところが感じるけど、今後その辺をどう捉えて、今は大多府島で云々というの
は、分かる、絡むけど、学術的に報告して、こういう検証するという事は考えてないわけ。

○片岡観光・シティプロモーション課長 先日、岡山市であった大会には私も行かせていただいて、聞かせていただきましたけれども、岡山市さんのほうは、商工会議所さんが中心になって、
現地の資料、西大寺の周辺資料をまだまだ調査されてということで大変勉強になったところですが
けれども、本市も当初認定を受けた構成文化財というのが、今北前船のほうが4つか5つあった
かと思うんですけども、それ以外でも参考になる資料がないかというところは、また生涯学習
等、学芸員とも協力しながら、引き続き調査して、該当になるようなものがあれば、また構成文
化財としても追加認定を考えていきたいと思っております。

○尾川委員 財産、探さなきゃいけないと思う。西大寺も結構苦労して、学芸員が商工会議所の会頭
がこうこうこういうんで、北前船の関連ねえかというんで、よう探したなと思う。備前市もその
辺は、いろんな意見があるのは知ってる。それだけの検証せんと、ただ北前船の寄港地と言よう
るけど、自称だけじゃ、やっぱり裏づけが必要と思う。その辺学芸員の力を借りてやっていかん
と、北陸地方とは全然違う。あそこらは、すごい財産持ってお金つぎ込んであるからな、歴史も
あるし。通っただけか、避難しとっただけかということからしても、それだけの歴史的な評価を
分析して、資料に残していかなと、何のために北前船、付き合いしょんならということになって
きて、外されるんじゃないかと思う、日本遺産ですというたって。そういうことにならんよう
に、やっぱり裏づけをきちっと、発見していくということを努めてもらいたいと思う。

○片岡観光・シティプロモーション課長 私も先日、岡山市さんのほうの大会とか講演なりをい
ろいろ聞かせていただいております、私も全く知識がないところで、ああいったことをいろ
ろ教えていただいて、そういったお話を聞く中で、やはり北前船と関連があるんじゃないかなと
いうところは備前市にも若干、浅はかながら思うところはあるんですけども、そういったと
ころはああいった学術的なある学者であったり、講師の方々にちょっとお話を聞きながら、またち
よっと新たな調査、発見ができればいいかなと思っております、そういったところが見つかれ
ば、またそういった分を活用したPRも実施していきたいとは思っております。

○守井委員 美術館の関係で、179ページの社会教育費の文化施設費、負担金補助及び交付
金、行事企画運営補助金5,371万3,000円、それから企画展実行委員会補助金3,48
3万円と計上されております。

6年度末に完成という予定が、7年度にずれ込んで、今の予定では7月12日にオープニング
をやりたいということを聞いておるが、それぞれ行事企画のこれらの補助金や実行委員会への補
助金は、準備はできておるのかどうかお聞きしたい。

○林備前市美術館準備室長 行事企画運営補助金というのは、主にあの美術館での展覧会の開催
経費に補助を出すものでございます。7月の開館時にスタートするピカソ、それと備前の現代陶

芸、そういったものは開館記念の特別展の経費、実行委員会経費として別で2本立てになっております。この経費に関しましては、6月の定例会において、債務負担行為で上げさせていただいております3,483万円でございます。

行事企画運営補助金は、その開館記念展以降の展覧会の経費分でございます。7月から行います定窯展、10月から行います正宗文庫、1月から行う北斎漫画、そういった展覧会の経費でございます。あと合間に行います収蔵品展、これは備前焼を中心とする展示になりますが、そのほかに、あと8年度以降に開催しようとする展覧会の準備経費も含んでおります。

あと準備の関係に関しては、鋭意借用する美術館とも話をしたり、連絡したりして準備は進めておりますので、御期待いただきたいと思います。

○守井委員 7月12日を目標にいろんな行事が動いておるということですが、美術館自体の完成は3月末という予定、できるだけ急いでそれに合わせられるように頑張っておられると思うが、完成自体も遅れるのは確かなことか。

○林備前市美術館準備室長 建設工事は5月末までかかるというふうに伺っております。です。で、今回の本会議の議題の中で、第51号ですね、展示ケースの工期の延期をさせていただきましたが、5月末までは入れることができないと。ですので、1か月の期間をいただいて大型の展示ケースを入れさせていただく。そして、借用先のところからいろんな——いろんなといいますか、ピカソとあと備前焼を全国からお借りするものが、6月から準備をしつつ、7月に搬入させていただいて、7月の中旬をかけて展示をするという工程で考えております。

○守井委員 いろいろ昔からのお話の中で、六古窯という焼き物の関係のところがありまして、六古窯サミットが何年かに一度あるということで、完成を記念にそういうものを開いてはどうだろうか、その辺のお話は出ていないでしょうか。

○片岡観光・シティプロモーション課長 六古窯サミットに関しては、本年11月14、15日あたりで、今他の市町と、首長と協議をしながら日程を調整しているところであります。

今委員おっしゃられましたとおり、備前市美術館も完成しますので、その開館を記念して美術館での開催を予定しておりますけれども、またその内容については、ちょっとほかの市町との協議、六古窯協議会の中で協議しとりますので、それに関する予算については、今年度当初予算では計上しておりませんが、今後の補正予算等で計上してまいりたいと考えております。

○守井委員 せっかく新しい、いいものができたので、盛大にできるようよろしく願いしたいと思います。

○尾川委員 指定管理料が2,170万円、前が630万円ほど、これは指定管理でやっと思うけど、金額が非常にアップしとることについて説明をお願いしたい。

○林備前市美術館準備室長 生涯学習のほうが担当しております。

○尾川委員 市長の答弁で、伝産会館との美術館との連携というか、附属館というか、美術館と一体というふうに説明を受けた気がして、名前を変えたり、それからどういう位置づけ、現場的

にはどういうふうやっていこうとしとんか、お聞きしたい。

○桑原備前焼振興課長 先ほど林課長から御答弁がありました。指定管理に関しては生涯学習課が所管をしています。今年度、指定管理の議案を6月議会でしたか、提案させていただいたと思うんですが、そのときに別館という名前の改定も併せて条例改正をさせていただいております。

今後、美術館別館の改修が終われば、一体的に条例改正等も含めて検討させていただきたいというところございまして、指定管理の予算に関しては、今の伝統産業会館と美術館と一体的な管理というところで指定管理料を計上させていただいています。

○中西委員 176ページの文化財保護費の旅費、この普通旅費に観光の69万1,000円が入ってるということですけども、観光の69万1,000円は何でしょうか。

○片岡観光・シティプロモーション課長 こちらについては、北前船日本遺産活用協議会が年2回フォーラムを開催しております。今年度につきましては、北海道の釧路、それから福井県のほうで開催をいたしました。令和7年度は長野県の松本市、それともう一つはまだ開催が未定ですけども、一応そこを見込んでの予算計上とさせていただいております。

○中西委員 同じページ、文化施設費の備前市美術館運営協議会委員等報酬、できればこの委員の名簿、提出をお願いできませんでしょうか、委員長。

○林備前市美術館準備室長 運営委員に関しましては、まだ組織されておられません。ですので、まだ提出できないです。

○中西委員 これはいつ頃、運営委員が決まるんでしょうか。

○林備前市美術館準備室長 開館が7月でございますが、もう開館記念展はこういう形でやるという流れができておりますので、恐らく10月以降ではないかと思っております。

○中西委員 ということは、ここで上がっている13万円は、半年分の費用ですか。

○林備前市美術館準備室長 内訳を申しますと、美術館運営協議会の委員が条例上10名でございますので、6,500円掛ける10人の1回ということで6万5,000円、それと美術品とかを購入するときの評価委員ですね、その方が5人ですので、その方に関しては、6,500円の5人掛ける2回ということで、こちら6万5,000円、合わせて13万円を考えております。

○中西委員 しかし、美術館が一応完成して、7月から運営されるということになると、やっぱしその運営協議会は、開館前には開かなければならないという感じを受ける。でないと、どうやってこの美術館を運営するかということ、この運営委員が話し合う場所がないといけないと思うけども、いかがなものでしょうか。

○林備前市美術館準備室長 本来ではそうかもしれないですが、やはり開館の記念展を決めて、取りあえずこれで進むというふうに進んでいる以上、そこまでの余裕が多分ないのではないかなと思っております。

○中西委員 しかし、一応いろんなスケジュールがもう決まっていると、先ほども新規事業の概

要の中でも、正宗文庫とか、葛飾北斎とか、一応、企画が立案されていることも含めて、この美術館運営協議会委員の方は、やっぱり御存じでないと、いかがなものかと。運営協議会をつくる理由がなくなってくると思うけども、いかがでしょう。

○林備前市美術館準備室長 委員おっしゃられるようなのは当然のことだと思いますので、さすがに10月というのはちょっと遅いかと思います。美術館がまだ開館しておりませんが、いずれにしても、開館から後、速やかに立ち上がるように検討してまいりたいと思います。

○中西委員 その節は、所管の委員会にこの運営協議会の委員の名簿、提出をぜひお願いしたいということをお願いしておきたいと思います。

続いて、文化施設費の報償費、アドバイザー謝礼160万8,000円、これは具体的には、限られた方と思うけども、人数は多いでしょうか。

○林備前市美術館準備室長 この方はお一人でございます。デジタル系の技術者を特認顧問としてお願いしようとしております。現在もその方には、3月末までということで、顧問としてお願いしておりますが、引き続き来年度もお願いしたいと思っております。その方に関しましては、非常にデジタルの携帯の関係とか、スマートフォンの開発とかにも関わった方でございますので、デジタルの活用のノウハウ、そういったものをお持ちでございますので、これからやっぱり美術館においてデジタルの活用というのは欠かせないと思っておりますので、そういったこの方の技術を活用させていただきたいというふうに考えております。

○中西委員 そういうところは、美術館をつくる前から、そして7年度の当初から予算組まれるということですけども、そういう意味では、美術館の運営協議会委員が私は格からしたら高い格にあると思いますので、ぜひ早めに立ち上げていただきたいと思います。

178ページ、需用費、印刷製本費、美術館が30万円の予算を上げておられるけども、これはどのような印刷製本をされるのでしょうか。

○林備前市美術館準備室長 イベント用のポスターとチラシを考えております。

○中西委員 美術館のパンフレットは作られないんですか。

○林備前市美術館準備室長 美術館のパンフレットは、財団で作るという計画でおります。

○中西委員 その需用費の修繕料、美術館が30万円上がってます。美術館は5月末にできるわけですけど、それまでは、工事をやってる最中ですから、新しくできてから修繕料が発生するのかどうなのか、お聞かせいただきたい。

○林備前市美術館準備室長 30万円のうち、10万円に関しましては、公用車の車検時の修繕の費用でございます。あとの20万円でございますが、展示台のクロスの張り替えでございます。公用車も展示台に関しましては、旧備前焼ミュージアムで使っていたものでございます。展示台に関しましては、やはり割とといいますか、今年度の補正予算でお認めいただいているんですが、この先の展示の計画を考えますと、展示台が不足しますので、旧美術館で使ってたクロス、ちょっと古ぼけてはいますので、クロスを張り替えることで、新たに使えるものもございま

すので、そういった形で活用していきたいと思っております。

○中西委員 179ページの委託料の企画調査委託料30万円はどういう企画調査をされるのでしょうか。

○林備前市美術館準備室長 これに関しましては、主要調査を行う際の必要なときの撮影、カメラマン等というのか、撮影委託をするという費用を考えております。

○中西委員 同じページの負担金補助及び交付金、企画展実行委員会補助金、先ほどの御説明はお伺いをしましたけども、この企画展実行委員会、これは実行委員会が実態としてあって、実行委員の名簿を提出をしていただくことはできるか。

○林備前市美術館準備室長 はい、提出いたします。

○石原委員 同じ実行委員会への補助金3,480万円、併せてその上の行事企画運営補助金、こちらについては新規事業の概要にもございますけれども、想定では、7月12日開館予定で、7、8、9月でこの下の企画展が開催をされて、10月以降はこの上の行事企画運営補助金を活用した企画展示という、ここへスケジュールみたいなのが出ていますけれども、こういう流れで進んでいくという想定でよろしいか。

○林備前市美術館準備室長 はい、そのとおりでございます。

○石原委員 上の行事企画運営補助金5,371万3,000円は充当されての令和7年度後半、企画展終了後の企画展示になろうかと思っておりますけれども、こちらについて何か現時点で思い描かれている展示等々、現時点でお話がいただけるものがあればお聞かせください。

○林備前市美術館準備室長 後半部分に関しましては、少し訂正させていただくと、ピカソと同時に行います至極の逸品に関しましては、期間が短くなったということで、これは12月まで、この部分に関しましては、延長して行う形。もともとは6か月で行う予定でした。ですけど、ピカソが6か月やるというものを、開館が短くなったことで、3か月での縮小する形で行いたいというふうに考えております。10月以降の展示、今の至極の逸品と並行して行いますのが、正宗文庫の展覧会でございます。正宗文庫に関しましては、一度か二度お話ししたことがあるかと思いますが、備前市出身で非常に著名なといえますか、非常に優れた国文学者で、歌人でもあります正宗敦夫さんの著作とか、貴重な書籍、それを収集した正宗文庫が穂浪にございます。そこから作品をお借りして、新たにできた美術館で展示をしたいということでございます。こういった人の地元の偉人といえますか——で貴重な資料を収集した方を、やはりこういった形で顕彰できるというのは非常にいいことではないかなと思っております。

つきまして、1月でございますが、世界的に非常に著名な浦上コレクションという、浦上さんというコレクターの方が集めた北斎のコレクションがございます。その方から北斎漫画をお借りして、1月から3月まででございますが、非常に動きのある面白い、非常に緻密で描写力のある大胆な構図がというふうで知られております北斎漫画ですね、その魅力をお伝えできる展示になるというふうに考えております。そして、やはり焼き物を中心とするといえますか、焼き物にウ

エートを置いた美術館でございますので、北斎漫画というのは、海を渡ってヨーロッパ、そちらでジャポニズムを生み出したといえますか、ジャポニズムに影響を与えた浮世絵として非常に有名なんですね。そういった北斎漫画から取り上げた——を写した焼き物も同時に展示、少しでもございますが、展示しようと考えております。

あとは、展覧会の合間に、備前焼を中心とする収蔵品展というものを行う予定というふうに展覧会の構想としては考えております。

○石原委員 下の3, 483万円でもって7月12日の開館以降、7、8、9月までがピカソの陶芸展、それから7月から12月までが半年間、至極の逸品、それが終わった後、1月から3月まで、これが浦上コレクションの北斎漫画でお考えになられとると、この3, 483万円ですね、債務負担であった、開館記念としてのこちらの費用で、言うたら7年度、年間通してこちらの展示——展示スペースもいろいろありましょう——が行われる横で10月からさっき言われた正宗文庫等々はじめ5, 371万3, 000円で半年間もろもろ展示が行われるという流れで、よろしいか。

○林備前市美術館準備室長 ちょっと私の言い方が悪かったかもしれませんが、開館記念展の位置づけは、北斎漫画も入っております。ですけれども、費用としましては、実行委員会で行うのは、ピカソと至極の逸品でございます。1月に行います北斎漫画に関しましては、5, 371万3, 000円の中に入っております。

○尾川委員 林準備室長に御意見を申し上げるのはしのびないですけど、地域ゆかりの文化遺産を活用した展覧会支援事業が文化庁であって、岡山県立美術館——県立美術館と備前市の美術館と同格かどうかは別にして、こういう展覧会支援事業も活用してできるだけやるということは考えられとらんのでしょうか。何遍も、この間も言いましたし、その前も申し上げたけど、そのあたりどんな感じかと思って、ちょっと感を教えていただけたらと。

○林備前市美術館準備室長 これは国からの補助ということでございますので、やはり地域に根差した文化財を活用した展示ということでございます。例えば、それをピカソでやるとかというわけにはいかないでしょうし、また西洋の焼き物を展示するというわけにはいかない。ですから、それに似合うもの、やはりそういったストーリーが描けるものに関しましては、今後の課題とさせていただきたいですし、今頭の隅にあるのは、例えば備前ですと、備前焼のこま犬ですとか、あとえとですとか、そういったようなもの、割と人々の生活の中に入り込んでいる備前焼でございますので、そういったものを何か収集したりするような展示ができないかなというふうに、ただ来年度はちょっと無理でございますので、再来年度以降でそういったものも考えていきたいと思っております。

○尾川委員 もう一点、先生に申し上げるのは申し訳ないけど、正宗文庫、新しいのを発見しとるという評価をされとるけど、展覧会はするけど、その後どうお考えか、なかなか正宗文庫、個人の持ち物ですから、それほど市が口出すわけにはいかんと思うけど、ただ備前市の文化財とい

うか、一つの大きな枠の中では価値のあるものだと思うので、どういうふうに保存というか、顕彰していくべきかというのが気になるけど、お考えを教えてください。

○林備前市美術館準備室長 正宗文庫に関しましては、やはり県の博物館、岡山県の博物館でも展示をここ何年かやられたということを承知しておりますし、またそのときには、岡山県の至宝というので取り上げられておりますので、非常に評価は高い。また、岡山県の博物館の副館長さんからも非常に貴重なものだというお墨つきもいただいておりますので、やはり文化財、本当に備前の中で誇れる文化財ということで、展覧会に関しましても、来年度だけではなくて、何度もやることで、ちょっといろいろと展示の趣向を変えながら、何回かやるうちに、やはり地元にも皆さん価値を知っていただけることがあるかと思います。

それと、私がこれはちょっと所管課ではないですので、私が言うと僭越かもしれませんが、やはり文化財指定とか、そういったものにも、文化財としても価値が高いものでございますので、市指定とか、県指定とか、そういった形で保存されていくべきものだというふうに個人的には思っております。

○山本委員長 教育費で質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

諸支出金はないですね。184ページ、185ページの積立金、よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

予算書7ページをお開きください。第2表継続費の審査を行います。

質疑がある方の発言を許可します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、第3表債務負担行為に入ります。予算書は8ページ、9ページをお開きください。

質疑がある方の発言を許可します。

○石原委員 9ページの備前焼伝統産業会館改修用事業の6,800万円についてお聞かせいただければ。

○桑原備前焼振興課長 6,800万円の内訳になりますが、6,500万円が備品、それから300万円がデジタルマップというところで予定をし、予算計上させていただいております。

○山本委員長 ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

最後に、全体で質疑漏れはありませんか。

○中西委員 70ページ、吉永総合支所、吉永は総合支所だけでなく、出先も抱えていますから、この何年間で職員の異動があったりする中で、前年度より人が足らなくなってるとか、出先のほうになかなか人が手伝いに行くことができないとか、いろいろあったけども、現在のところ吉永総合支所の職員の数、昨年度と比べながら過不足はいかななものでしょうか。

○新庄吉永総合支所長 現在、吉永総合支所は、吉永総合支所と神根紅葉会館と三国出張所の3

つの職場がございまして、吉永総合支所では現在、正職員が5名で、うち1名は休職中でございます。会計年度任用職員さんは2名おります。神根紅葉会館は、正職員はおりません。会計年度任用職員さんが1名です。三国出張所につきましては、正職員、会計年度任用職員さんが1名ずつで合計2名です、現在、正職員が合計で6名、うち1名が休職中で、会計年度さんは4名ということでございます。

先ほど中西委員おっしゃられました、どなたかが休んだ場合に、神根とか三国とかに行ったり来たりというふうな形でおっしゃられたかと思うんですが、今年度、1名の職員が9月中旬ぐらいから休職しておりまして、その係というものはないんですが、そのセクションで休まれる職員がいた場合には、三国の出張所のほうからお手伝いに来てもらう、その間は三国の出張所が1人になってしまうというふうなところが今年度あったんですが、休職されとる職員が戻ってくれば、今まで休職前の状態という形になりますから、十分に対応できるのかなというふうには考えております。

○中西委員 小さい職場というのはなかなか大変だと思う。職を奪ってしまってもいけませんけれども、長期にわたる休職が余儀なくされるという場合には、やはり会計年度任用職員の採用も含めて事務の差し障りがないようにしていただきたい。今年度もそういう意味では、期待しておきたいと思います。

長期にわたる休職の扱いについてだけ答弁を願います。

○新庄吉永総合支所長 実際、今長期で休まれておる職員が3月ぐらいから復職に向けて、徐々にならしといてまいしょうか、総務課で勤務をされているという状況はお伺いしておりますので、この職員は4月からの復職を考えておられるのかなというふうに思っております。

○中西委員 一応、いろいろな配慮もしながら、しかしサービスは低下しないように人の配置をお願いしたいと思います。

○山本委員長 よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、以上で議案第2号中、危機管理課、市長公室、総合支所部関係の審査を終わります。

以上で予算決算委員会を閉会いたします。

午後 5時07分 閉会